



北信がんフロ

超少子高齢化地域での 先進的がん医療人養成

2021年度 事業報告書



石川県公立大学法人
石川県立看護大学
ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

目 次

巻頭言

・はじめに	1
	牧野 智恵

2021年度

がん看護専門看護師 (Oncology Certified Nurse Specialist:OCNS) 育成の取り組み

1 本科生の育成

・「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」(北信がんプロ)の概要と 本学におけるがん看護専門看護師養成	5
	牧野 智恵
・北信がんプロ 本科生としての学び	7
	天日 更織 池上 暁

2021年度本学において超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成 (北信がんプロ)にて企画・実施した内容の報告

2 インテンシブコース

・今年度の本学におけるインテンシブコースの成果	11
	牧野 智恵
・ライフステージ事例検討会の運営に携わって	13
	松本 智里
・ライフステージ事例検討会に参加して	14
	天日 更織
・ライフステージ事例検討会 参加者アンケート集計結果	15
	岡山のぞみ
・ライフステージ事例検討会 参加者人数	18
	岡山のぞみ
・ライフステージ事例検討会 ポスター	20

3 看護実践セミナー

「臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編/アドバンス編」

- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編を開催して 22
今方 裕子
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編 23
講師 石川県済生会金沢病院 高地 弥里
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編に参加して 24
竹森 結花
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編に参加して 25
外山 剛
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編 ポスター 26
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編 参加者アンケート集計結果 27
岡山 のぞみ
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編を開催して 31
今方 裕子
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編 33
講師 ナースソフィア(株) 訪問看護ナースソフィアにいかわ 時山 麻美
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編に参加して 34
榎 江梨子
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編 ポスター 35
- ・臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編 参加者アンケート集計結果 36
岡山 のぞみ

4 北陸CNSの会 共催企画

- ・CNS関係者による看護事例検討会を開催して 38
瀧澤 理穂
- ・第1回CNS関係者による看護事例検討会に参加して 39
時山 麻美
- ・第2回CNS関係者による看護事例検討会に参加して 40
印幡 香
- ・CNS関係者による看護事例検討会 ポスター 41
- ・CNS関係者による看護事例検討会 参加者アンケート集計結果 43
岡山 のぞみ

5 FD研修

「第27回石川緩和医療研究会」

- ・第27回石川緩和医療研究会を開催して 46
牧野 智恵
- ・コロナ禍の状況における緩和ケア実践の現状とその対策 47
講師 神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科 特命教授 木澤 義之
- ・第27回石川緩和医療研究会に参加して 49
池上 暁
- ・第27回石川緩和医療研究会 ポスター 50
- ・第27回石川緩和医療研究会 参加者アンケート集計結果 51
岡山 のぞみ

6 市民公開講座

「がんサロンの活動を知ろう」

- ・がんサロンの活動を知ろうを開催して 54
牧野 智恵
- ・がんサロンの活動を知ろう 55
講師 福井県済生会病院 車屋 知美
講師 富山県がん総合相談支援センター 尾川 洋子
講師 認定NPO法人がんとむきあう会 元ちゃんハウス 西村 詠子
講師 石川県がん安心生活サポートハウス つどい場はなうめ 木村 美代
講師 認定NPO法人マギーズ東京 秋山 正子
- ・がんサロンの活動を知ろう ポスター 60
- ・がんサロンの活動を知ろう 参加者アンケート集計結果 61
岡山 のぞみ

7 海外FD研修

- ・英国緩和ケアWEB研修 ポスター 65

<おわりに>

- ・北信がんプロの5年間を振り返って 66
牧野 智恵

- 2021年度「北信がんプロ」委員会、本学企画・運営担当者 一覧表 67

はじめに



石川県立看護大学学長補佐
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）
石川県立看護大学 がんプロ企画運営委員
企画・総務委員長 牧野 智恵

2017年度からスタートした「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（2017-2021：文部科学省）「北信がんプロ」（基幹校：金沢大学）の一員として、石川県立看護大学は、看護職の立場からがん看護に関する専門医療人の養成を行ってまいりました。この「北信がんプロ」は、「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」をテーマにし、がんゲノム医療、小児がん、希少がん、AYA世代や高齢者のライフステージに応じたケアに対応できる医療従事者を養成することが目的です。

石川県立看護大学は、北信がんプロの参加大学の中で唯一看護系の単科大学です。そのため北信がんプロでの本学の使命は、医学的知識を兼ね備え、エビデンスに基づいたアセスメント力をつけたがん看護専門看護師を育成することとっております。本学では、他大学と連携を図り、がんサバイバーやその家族に安心して治療や看護を提供できるように、医療従事者はもちろん一般市民に向けた事業を行ってきました。

この5年間、がん医療は大きく変化し、抗がん剤の効果の曝露予防の重要性や、がんゲノム医療による検査・治療が中心となりました。そのため、看護師にも曝露予防の知識やゲノム医療に関する知識が求められてきました。特に、遺伝子検査について理解することは、患者のみならず医療関係者にとっても難解で、1回の講演会に参加しただけでは十分な知識・技術を身につけることはできないことが課題でした。

そこで、第3期北信がんプロではFD研修会や市民公開講座で様々な企画を実施しました。以下はこの5年間で実施した企画の一部です。

2017年度：「メルボルン 緩和ケア視察研修」「医療者・患者への抗がん剤曝露予防を考えよう」

2018年度：「がんゲノム医療を理解し現場に活かそう」

2019年度：「ゲノム医療の現状と薬物間相互作用を知り現場に活かそう」

2020年度：「がんになっても自分らしい人生を過ごすために」（北信がんプロ合同市民公開講座 企画）
「AYA世代のがん体験談からその支援を考える」

2021年度：「がんサロンの活動を知ろう ～コロナ禍でのがん患者支援の現状と課題～」

「英国緩和ケアWEB研修」

2020年度から2021年度にかけては、新型コロナウイルス感染症による感染拡大の影響を受け、従来から実施してきた企画を実施できるか危惧しておりました。しかし、医療関係者の知恵とリモートの技術の助けを借りながら、今年度はほぼ予定していた企画内容を実施することができました。

原稿締め切りの関係上、12月までに開催した活動内容を、本報告書に掲載しております。本学のホームページにも、今年度までのがんプロ企画で実施した研修内容を見ることができるよう整備いたしました。是非、本学のホームページや北信がんプロのホームページをご覧ください、がん医療の知識を習得いただければ幸いです。

令和4年3月吉日

2021年度
がん看護専門看護師
(Oncology Certified Nurse Specialist: OCNS)
育成の取り組み

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」(北信がんプロ)の概要と 本学におけるがん看護専門看護師養成

大学院実践看護学領域・成人看護学(がん看護)分野 教授
北信がんプロ・コーディネーター、本学がんプロ企画運営委員長
牧野 智恵

1. 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成の概要

文科省は、2017年度から今年度の5年間にわたる第3期のがんプロを提案し、そのテーマを「多様な新ニーズへの対応」とした。その期待される成果としては、「がんゲノム医療従事者の育成」「希少がん・小児がんに対応できる医療人材の育成」「ライフステージに応じたがん対策を推進する人材の養成」の3つである。

北信がんプロでは、北信4県(長野県、富山県、石川県、福井県)の平成27年の生産人口(15-64歳)が全国平均の平成42年のそれよりも少ない(総務省統計局統計データより)ことから、北信地域を超少子高齢化地域と位置付け、「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」をテーマに掲げた。



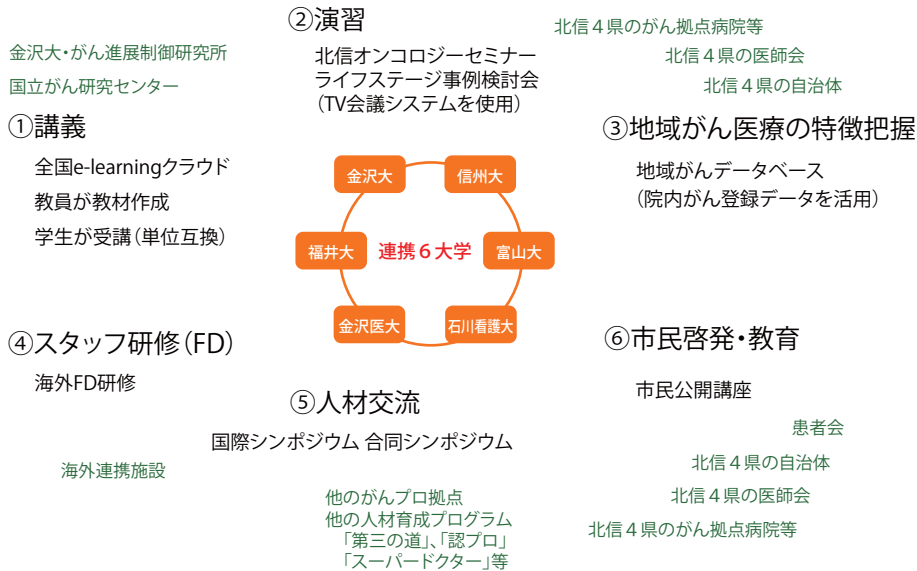
図1 北信がんプロの概要(ポンチ図)

北信がんプロの実施内容として、1) 6大学の強みを生かした最先端がんゲノム医療、小児・AYA世代・希少がんの集学的治療、ライフステージに応じたケアを大学の枠を超えて学習できる、共通科目や単位互換を導入した相互補完的教育コース(本科10、インテンシブ9)。2) テレビ会議システムを発展させた、北信オンコロジーセミナー、事例検討会。3) スタッフ研修として海外FD研修の実施。4) 他のがんプロ拠点や、人材育成プログラムとも積極的に連携し、国際シンポジウム、合同

シンポジウムの実施。5) 市民啓発、がん教育活動の一環として患者会との連携や、北信4県の自治体、医師会、がん拠点病院と連携し、市民公開講座やシンポジウムの開催などである。本学は主に、大学院教育では、がん看護専門看護師の育成(本科生)と、テレビ会議システムを活かした事例検討会を実施し、がん強い看護師の育成に努める。

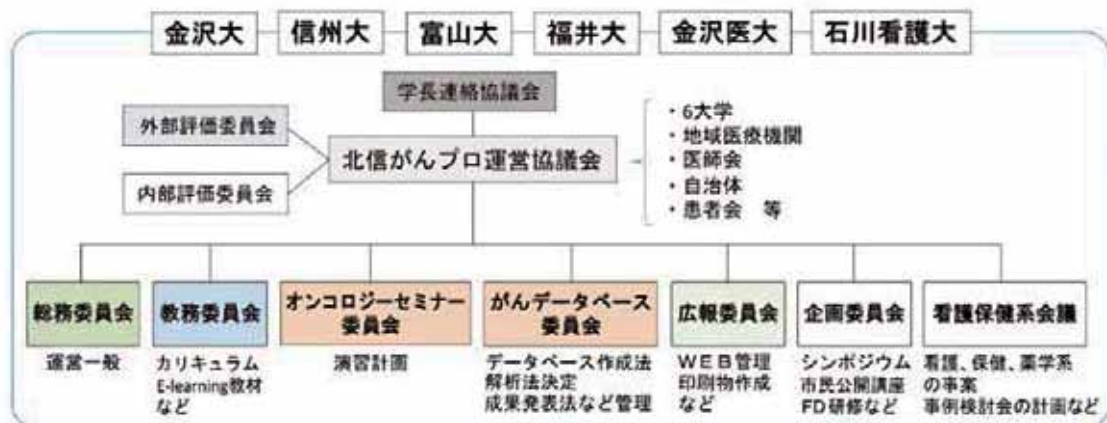


北信がんプロの実施事業



超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)では北信地区の医科系・看護系6大学の連携のもと、下記のように学長連絡協議会、外部評価委員会、内部評価委員会、並びに北信がんプロ運営協議会(6大学、自治体、医師会、がん拠点病院、患者会等)を設置し、事業が当初の目的通り、計画通りに進捗しているかを定期的にチェックしている。

また、6大学間では総務委員会、教務委員会、オンコロジーセミナー委員会など、各種委員会に各委員会の担当教員を配置し、計画的かつ適切な事業運営が進められるよう定期的に委員会を開催している。



本科生としての学び

石川県立看護大学大学院博士前期課程 本科生2年

実践看護学領域：成人看護学分野

天日 更織

私は、2020年4月に本学大学院のがん看護専門看護師教育課程に進学しました。現在も金沢市立病院で勤務しながら、学業との両立をはかる日々を送っています。

北信がんプロが開催するライフステージ事例検討会は、各々の施設での事例を提供し、様々な職種との意見交換ができます。また、がん看護専門看護師（以下CNS）関係者による看護事例検討会は、CNSが困難な事例を、どのように捉え、どうアプローチしながら多職種と協働していくかなどを学べる貴重な内容です。困難な事例にある患者を捉えるときに、医療者や患者、家族などそれぞれの抱える問題を捉えようとするのではなく、CNSは、各々の関係性や、受け持ち看護師を含む医療者を取り巻く院内のシステム等の全体像から、困難な問題となっている事柄を見つめる視点を求められ、その結果、患者や家族に望ましい解決策を導き出すことを求められます。このCNS関係者による事例検討会は、実際にある事例を基に、CNSの考え方、更に先輩CNSからの助言なども踏まえ、CNSの視点がどこを向いているかを学ぶ貴重な機会になります。今はまだ視野の狭い自分の考え方を振り返り、CNSとの視点の違いを見つけるにしか及ばない自分ではありますが、CNSに必要な俯瞰的な視点を養うことの重要性を認識する機会となりました。

この他、コロナ禍で県外への研修参加等を自粛せざるを得ない状況でも、北信がんプロe-ランニングを受講することで、がんゲノム医療、小児・AYA世代、高齢者のがん医療など、様々な知識を深めることができます。幅広い年齢層の患者や家族へのがん看護に携わる私達にとって、これらのe-ランニングの講義は繰り返し受講することができ、がんのプロフェッショナルとして今後活躍出来るよう必要な知識を得ることができると思います。

更に、北信がんプロ市民公開講座などは、講演会に直接足を運ぶことが困難であっても、今後のがん診療がん治療の最前線について各大学の講師陣の先生方の話を、動画公開を通して聴講することも可能です。その他にも、コロナ禍におけるがんサロンの活動状況や、患者や家族が1人で悩みを抱え込まずに、気軽に足を踏み入れることができる、マギーズ東京の秋山先生の講演などをYouTube配信として聴講できたことは、大変嬉しく思いました。

これらを通して、今のがん医療やコロナ禍でのがんの患者を取り巻く環境について、社会の動きと掛け合わせ情報を得ることが北信がんプロではできます。

今後も、これらの北信がんプロでの学びを通し、がん看護専門看護師へ向けての道を邁進していきたいと考えています。

本科生としての学び

石川県立看護大学大学院博士前期課程 本科生2年

実践看護学領域・成人看護学分野

池上 暁

私は、2020年4月に本学大学院のがん看護専門看護師教育課程に進学しました。今年度は、ライフステージ事例検討会やCNS関係者による看護事例検討会、オンコロジーセミナーに参加させていただきました。

特にライフステージ事例検討会は私にとって、理論と実践をつなぐトレーニングとして重要な役割を果たしています。私は勤務を継続しながら進学したため、実習や臨床での実践の機会がありますが、学んだ理論を踏まえてそれらでの経験を捉えようとしながらも、なかなかうまくできないと感じています。その中で事例検討会は、参加者の自身の多様な質問や意見を聞きながら考えるきっかけとなっており、自分の視野を広げる機会と感じています。その後に行われるレクチャーでは、その事例に沿った論文や知識を教えていただき、自分の知識や理解の不足を補っていただいています。

最近では、「化学療法による脱毛への不安が強い患者への支援」と題し、アピアランスケアに関する事例の発表がありました。脱毛等の外見の変化は生命には直結しませんが、自分らしさを削ぐ原因となり、生活や人生に大きく影響します。そして治療によって外見が変化することが、患者さん本人にとって苦痛であるということは、治療を中断する理由にもなりえます。私は、この事例を聞いたとき、脱毛への不安とはどういう内容なのだろう?ご本人にとって脱毛するとはどういう意味を持つのだろう、脱毛を防ぐためには、脱毛があっても可能な限り本人らしくいられるための支援とは?と、脱毛や外見のことにばかりに気を取られていました。もちろん、これらも大切な観点ではあると思いますが、ディスカッションが進み、一つの質問にハッとさせられました。不安が強く外来には1日に数回の電話があったとの情報から、「不安の内容はここに紹介されたもの(主に脱毛とそれに関わること)だけか、他にもあったのか。」というものでした。そして事例提供者の方からは様々なエピソードが出され、不安は脱毛だけでなく、病気、将来等の絡み合った不安があったのだと分かりました。これは、脱毛は1番気になることとして挙がっていましたが、不安の一側面にすぎず、実際は他の要素が付随しているのではないかということです。脱毛という表出された不安の一側面を手掛かりとして、患者さん本人にとって何が大切なのか、全体の理解に繋げていくことが大切なのだと思いがされました。実はこの検討会のがん看護学実習Iという、専門看護師になるための1つ目の実習の直後でした。そこでも同様に患者さんの全体性を捉えることが課題でしたが、十分に理解できていない感覚がありました。しかしこのライフステージ事例検討会を通して、こういうことなのかとも思考の霧が少し晴れたような気がしました。

さらにCNS関係者による看護事例検討会では、CNSの先輩方の困難な事例やその意見交換から、CNSとしての思考の実際を学びました。これら事例検討会の参加回数は合わせて10回以上となりました。ディスカッションで、意見を述べることがあまりできていないことが課題ではありますが、今後は考えや質問を伝えるという点でもこの場を活用させていただきたいと考えています。

今後も北信がんプロでの学びを大学院での学習や臨床に活かしながら、能力の向上に努めたいと思います。

**2021年度
本学において超少子高齢化地域での
先進的がん医療人養成（北信がんプロ）にて
企画・実施した内容の報告**

今年度の本学におけるインテンシブコースの成果

大学院実践看護学領域・成人看護学（がん看護）分野 教授
北信がんプロ・コーディネーター、本学がんプロ企画運営委員長
牧野 智恵



今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各施設で看護師や医師が集まり会議を行うことを規制されていたが、これまでも、本学ではテレビ会議システムを用いた事例検討会を実施していたため、今年度は、各施設での会場での感染対策を講じた上で、予定通り6月から第1回の「ライフステージ事例検討会」を開催した。

しかし、昨年同様、施設での参加者同士の意見交換は中止し、テレビ会議システム内での意見交換に変更した。また、テレビ会議システムのみでなく、事前の参加申し込みと誓約書の提出を架すことによって、YouTubeでの参加とそこの質問も受け付けた。そのように実施方法を工夫することによって、仕事終了直後の看護師や医師等の参加も増え、1回の参加者数は昨年度より増加した。このライフステージ事例検討会は、インテンシブコースの受講科目として大きな役割があるため、開催できたことを嬉しく思う。

北信がんプロでのインテンシブコースは、「がんライフケアコース」と「看護師インテンシブAコース」を実施している。前者は、北信4県の病院に勤務し、がん患者のケアに携わる医療従事者を対象としており、今年は4名からの申し込みがあった。また、後者は、がん看護専門看護師教育課程を修了した者を対象としており、本年度は1名の申し込みがあった。

それぞれのコースの基本となっている科目は、本学が主催している「ライフステージ事例検討会」（45分）と、がん看護専門看護師による「ミニレクチャー」（15分）である。毎回、本学の教員、大学院生、がん看護専門看護師、そして医師も参加し、テレビ会議システムを導入してある北信4県の病院の方々ががん患者の事例について意見交換されている。

2020年度からは、希望する施設がライフステージ事例検討会に参加できるようになり、全施設と同時に事例検討会が実施できることとなった。北信4県は、施設が離れており、また、公共交通機関が不十分ということがあり、遠隔地の病院で働く医療職者が事例検討に参加ができるようにとの発想で開始した事例検討会であるが、コロナ禍でも問題なく実施でき、YouTubeを利用することで多くの関係者の参加が可能になり、有効な教育方法となっていることが確認できた。

以下、それぞれのコースの特徴について簡単に紹介したい。

1. 「がんライフケアコース」

昨年度からは、看護師のみならず、薬剤師、医師、理学療法士など多職種が参加できるように事例を工夫し、緩和ケア、がんリハビリ、化学療法・放射線療法などを受ける患者の事例について意見交換をしている。

2. 「がん看護インテンシブAコース」

平成19年度から実施しているコースの一つで、北信がんプロのがん看護本科生（大学院のがん看護専門看護師課程）を修了し、今後がん看護専門看護師の受験を目指している看護師、または更新予定のがん看護専門看護師を対象としたコースである。

また、7月と9月にがん看護専門看護師と本コース申請者を対象に、がん看護専門看護師の知識と技術のブラッシュアップと専門看護師の受験に向けた学習のための事例検討会を実施した。今年度は、北陸3県のがん看護専門看護師とその関係者だけの事例検討会を実施したが、活発な意見交換が行われ、この15年間で専門看護師が大きく成長したという実感を抱いた。そして、日頃、施設のがん看護の向上のために一人で悩んでいるがん看護専門看護師も、互いに困っている事例の共有ができ、問題解決能力を高める一助になっているようである。



2021年7月の事例検討会の様子



2021年9月の事例検討会の様子

ライフステージ事例検討会 の運営に携わって

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

石川県立看護大学 がんプロ企画運営委員

松本 智里

ライフステージ事例検討会は、北信4県の施設をテレビ会議システムでつなぎ、施設の垣根を越えて、日頃のがん患者様やそのご家族へのケアについて意見交換することを目的としています。内容は事例検討会と、がん看護専門看護師によるミニレクチャーです。

昨年度より続く社会情勢のために、「1つの場所に集まって意見交換を行う」ということが、依然として困難な状況にあります。そんな中で事例検討会を継続する対策として、昨年度よりYouTubeによるオンライン参加を取り入れました。その方法が軌道に乗り、今年度は会場とオンラインを合わせて、毎回100名を超えるご参加をいただいております。また、オンライン参加者の方からの質問や意見をGoogleフォームで募集し、テレビ会議室システムに参加する方との質疑応答をリアルタイムで行えるような工夫もいたしました。

事後アンケートで、この事例検討会への期待やご意見を頂くたびに、開催する意義を強く実感しております。今年度で第3期北信がんプロは終了となりますが、この事例検討会を継続していけるように尽力してまいりたいと思います。今後とも皆様のご協力・ご参加をどうぞよろしくお願いいたします。



ライフステージ事例検討会 に参加して

石川県立看護大学大学院博士前期課程 本科生2年

実践看護学領域：成人看護学分野

天日 更織

ライフステージ事例検討会は、テレビ会議システムによって北信4県の大学を含め、がん診療拠点病院をはじめ他の施設をつなぎ、事例検討会とミニレクチャーを年間8回開催しています。

複雑な問題を抱えた事例などを、他の施設の医療従事者と意見交換することができ、新たな気づきや他の施設での取り組みを学ぶ機会となります。

事例の中には、終末期の患者の意思決定支援を行うときに患者の思いや価値観を大切にする看護とはどういうことかなど、日々の看護実践の中で、困難な場面に立たされた時に感じるモヤモヤ感が、ずっと自分の中で落とし込める機会もありました。また、がん化学療法を受ける患者の外見変化は、患者にとっては避けられない不安であり、その事例を検討会にて共有することは、当院で化学療法を受ける患者へのアピアランスケアの必要性にも繋がると再認識できました。

コロナ禍での事例検討会ではありますが、施設毎での検討時間は省略となっても、検討会に参加している医師や薬剤師、ソーシャルワーカーなど多職種の医療従事者と多様な意見交換を行うことができます。また、YouTubeによるオンライン参加ができるようになり、テレビ会議システムがない環境であっても事例検討会に参加することができます。画面を通しての意見交換は行えなくても、事例に関しての分からないこと、詳しく知りたいことをその場で直ぐに質問を行えるようになったことなど、新たな取り組みは、画面越しの参加であっても、とても有意義な検討会となっています。

更に、CNSによるミニレクチャーは、事例に応じた内容でがん患者や家族を看護していく上での重要な視点を取り込まれ、貴重な学びとなる時間となり、日々のがん患者や家族への看護実践に繋ぐことができると感じています。

ライフステージ事例検討会 参加者アンケート集計結果

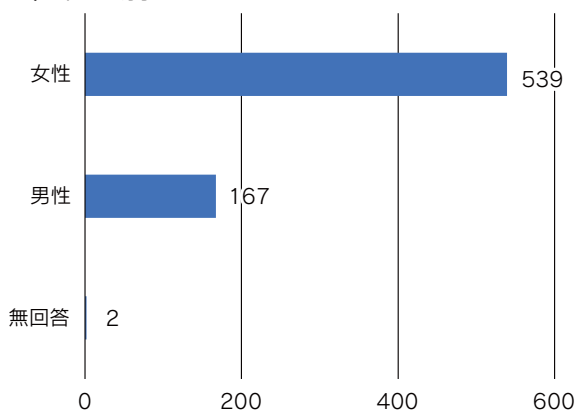
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

担当 岡山 のぞみ

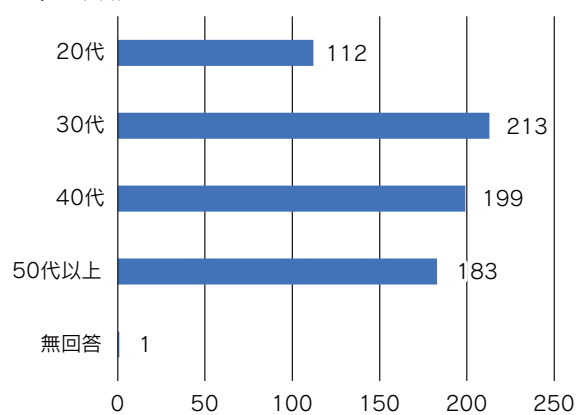
第1回から第6回までのライフステージ事例検討会にて862名参加し、アンケート回収者数は708名(石川県:396名、富山県:116名、福井県:102名、長野県:90名、無回答:4名)、回収率82.1%であった。

1. 参加者について (n=708)

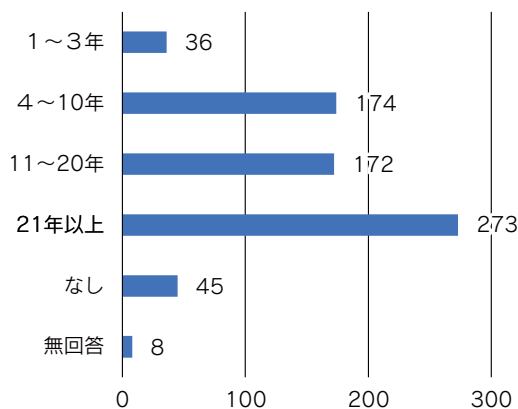
1) 性別



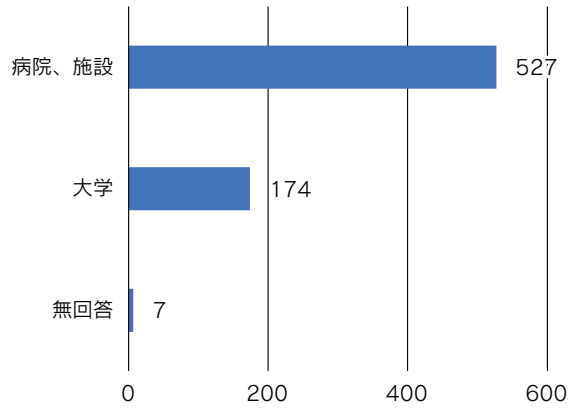
2) 年齢



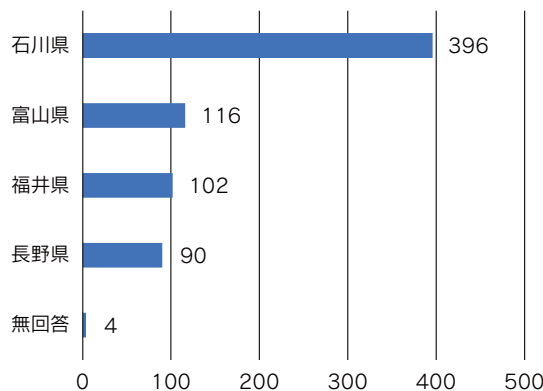
3) 臨床経験年数



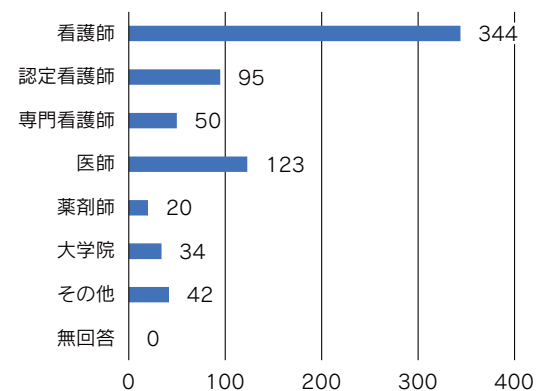
4) 勤務施設



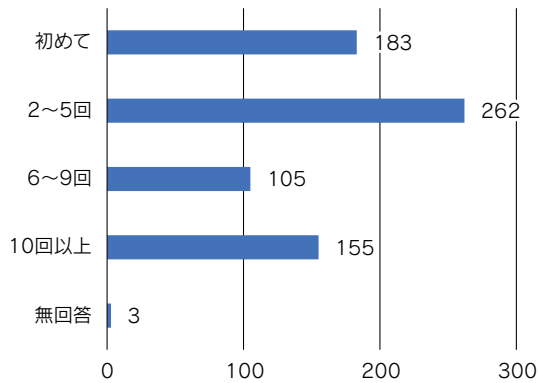
5) 勤務地



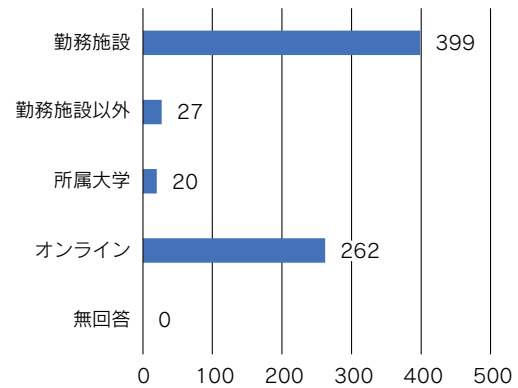
6) 保有資格



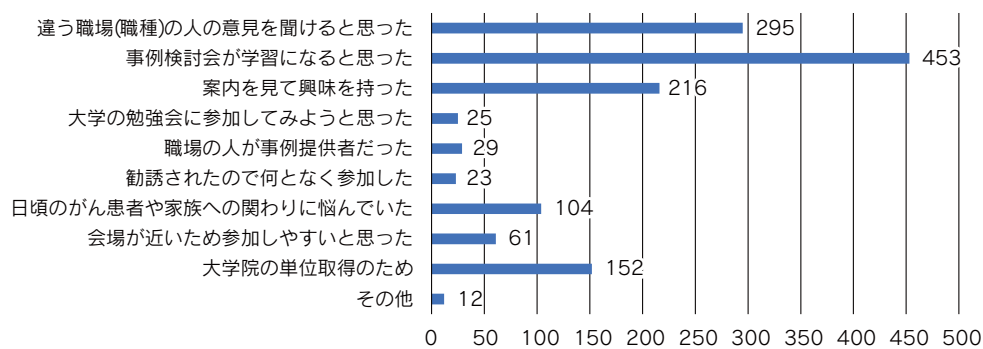
7) 参加回数



8) 参加会場

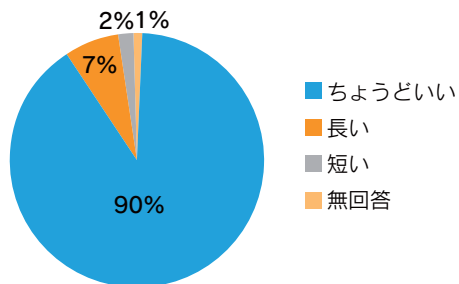


9) 事例検討会の参加動機 (複数回答可)

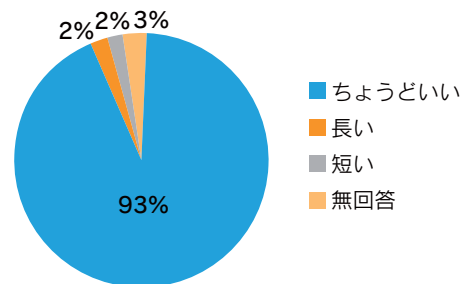


2. 事例検討会の内容について (n = 708)

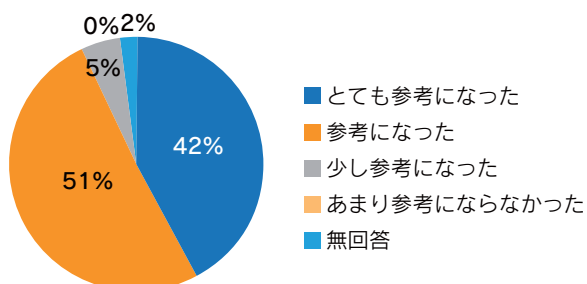
1) 事例検討会の所要時間



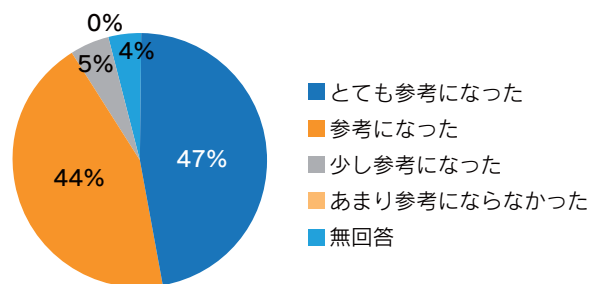
2) ミニレクチャーの所要時間



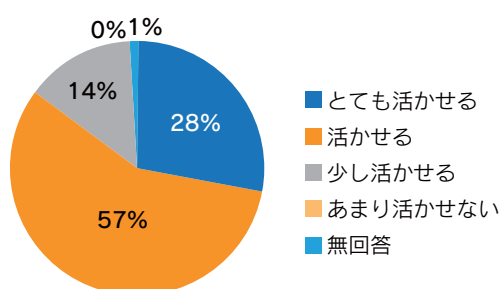
3) 事例検討会の内容



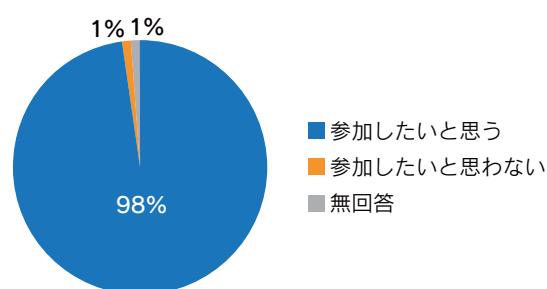
4) ミニレクチャーの内容



5) 今後の看護実践への活用



6) 今後の参加の希望の有無



3. 自由回答への記載内容 ()内は人数を示す

事例検討会の意見・感想

- ・他施設、多職種の意見や話を聞く事ができ、勉強になった。(11名)
- ・大変参考になった。(10名)
- ・実症例に基づいた事例検討と、モデルケースを用いたミニレクチャーが大変勉強になる。(6名)
- ・今後の実践に活かせると思った。(5名)
- ・ミニレクチャーを先に行う方が理解しやすかった。(3名)
- ・今年度よりオンライン参加も参加型になったことで、質問や気になることを取り入れられるようになったので、参加する価値があると思う。
- ・医師は看護師の方ほど患者さんと関わることはないが、患者さんとその家族の方の気持ちに寄り添った医療を提供したいと思った。
- ・医師として勤務しており、看護師をはじめスタッフの方々とはコミュニケーションをとっているつもりだが、看護師主体の検討会に参加・公聴することで、自分たちと異なる発想で捉えているかどうかなど参考になる。
- ・病棟ナース、チームがみんなで悩み、取り組む姿に感動した。検討会終了後、会場参加者と今入院中の気になる患者さんについて自然とミニカンファレンスになった。
- ・患者さんや家族を支える医療者として、色々な立場や視点があると思った。
- ・事例とレクチャーがセットになっていて、とても有意義と感じた。
- ・病院でこのように奮闘しているナースの姿、現在進行形の患者・家族の姿、悩みながらもこうして検討を行い、何か糸口が見えてくる。これがこの事例検討会の醍醐味だと思った。CNSによるレクチャーがさらに学びを深め、根拠ある看護へと導いてくれている。

事例検討会の運営について

- ・オンライン参加でも十分に理解ができた。(2名)
- ・開始時間を早めてほしい。
- ・17時までに終わる時間帯に開催してほしい。

今後期待する事例

- ・蜂窩織炎やリンパ浮腫、癌手術後の排尿障害や神経障害
- ・家族の支援、独居の方の支援
- ・コロナ禍での面会制限がある中での関わり方、取り組み方
- ・妊娠をあきらめたケース
- ・セカンドオピニオン希望の際の対応

2021年度 ライフステージ事例検討会 参加者人数

回数 開催日時	担当	参加大学・病院名	計	看護師 (医療機関)	医師/ 歯科医師	薬剤師	大学院生	その他		
第1回 2021.6.1(火) 17:45～		金沢大学	0	0	0	0	0			
		福井大学	4	4	0	0	0			
		石川県立看護大学	7	7	0	0	0			
		信州大学	4	4	0	0	0			
		恵寿総合病院	2	2	0	0	0			
		石川県済生会金沢病院	0	0	0	0	0			
		金沢市立病院	6	6	0	0	0			
		小松市民病院	5	5	0	0	0			
		石川県立中央病院	10	10	0	0	0			
		浅ノ川総合病院	0	0	0	0	0			
		公立松任石川中央病院	12	12	0	0	0			
		富山県立中央病院	2	2	0	0	0			
		高岡市民病院	0	0	0	0	0			
		○ 市立砺波総合病院	13	13	0	0	0			
		富山県済生会富山病院	16	15	0	0	0			事務 1
		金沢医科大学氷見市民病院	0	0	0	0	0			
		厚生連高岡病院	0	0	0	0	0			
		富山労災病院	3	3	0	0	0			
		福井県立病院	17	15	1	0	0			リハビリ 1
		諏訪赤十字病院	6	5	0	0	0			診療情報管理士 1
	長野赤十字病院	0	0	0	0	0				
	オンライン	89	32	31	7	5	MSW 1	教員 2	その他 11	
	参加合計		196	135	32	7	5	1	2	14
第2回 2021.7.6(火) 17:45～		○ 金沢大学	0	0	0	0	0			
		富山大学	0	0	0	0	0			
		福井大学	2	2	0	0	0			
		金沢医科大学	3	1	2	0	0			
		石川県立看護大学	6	6	0	0	0			
		信州大学	3	2	1	0	0			
		金沢赤十字病院	0	0	0	0	0			
		公立能登総合病院	0	0	0	0	0			
		国立病院機構金沢医療センター	0	0	0	0	0			
		公立松任石川中央病院	4	4	0	0	0			
		石川県立中央病院	8	8	0	0	0			
		富山県立中央病院	2	2	0	0	0			
		富山市民病院	3	3	0	0	0			
		富山赤十字病院	1	1	0	0	0			
		富山県済生会富山病院	8	8	0	0	0			
		富山県済生会高岡病院	0	0	0	0	0			
		厚生連高岡病院	0	0	0	0	0			
		黒部市民病院	3	3	0	0	0			
		福井県立病院	8	6	0	1	0			PSW 1
		諏訪赤十字病院	4	3	0	0	0			診療情報管理士 1
	飯田市立病院	0	0	0	0	0				
	松本協立病院	2	1	0	0	0			介護支援員 1	
	オンライン	73	25	30	6	8	診療放射線技師 1	臨床検査技師 1	その他 2	
	参加合計		130	75	33	7	8	1	1	5
第3回 2021.8.3(火) 17:45～		金沢大学	0	0	0	0	0			
		富山大学	0	0	0	0	0			
		福井大学	3	2	0	0	0			検査技師 1
		金沢医科大学	0	0	0	0	0			
		石川県立看護大学	5	5	0	0	0			
		信州大学	1	1	0	0	0			
		金沢赤十字病院	0	0	0	0	0			
		石川県済生会金沢病院	0	0	0	0	0			
		金沢市立病院	4	4	0	0	0			
		小松市民病院	5	5	0	0	0			
		○ 石川県立中央病院	14	14	0	0	0			
		公立松任石川中央病院	8	8	0	0	0			
		浅ノ川総合病院	2	2	0	0	0			
		富山県立中央病院	2	2	0	0	0			
		高岡市民病院	0	0	0	0	0			
		富山県済生会富山病院	5	5	0	0	0			
		金沢医科大学氷見市民病院	3	3	0	0	0			
		黒部市民病院	2	2	0	0	0			
		富山労災病院	3	3	0	0	0			
		福井県立病院	8	6	2	0	0			
	諏訪赤十字病院	8	8	0	0	0				
	松本協立病院	2	2	0	0	0				
	オンライン	66	20	30	6	6	臨床検査技師 1	診療放射線技師 1	その他 2	
	参加者計		141	92	32	6	6	1	1	3

回数 開催日時	担当	参加大学・病院名	計	看護師 (医療機関)	医師/ 歯科医師	薬剤師	大学院生	その他
第4回 2021.10.5(火) 17:45～		金沢大学	0	0	0	0	0	
		富山大学	0	0	0	0	0	
	○	福井大学	13	13	0	0	0	
		石川県立看護大学	7	7	0	0	0	
		信州大学	3	2	1	0	0	
		恵寿総合病院	0	0	0	0	0	
		国立病院機構金沢医療センター	0	0	0	0	0	
		小松市民病院	8	8	0	0	0	
		公立松任石川中央病院	10	10	0	0	0	
		石川県立中央病院	8	8	0	0	0	
		浅ノ川総合病院	4	3	0	0	0	理学療法士 1
		富山県立中央病院	4	4	0	0	0	
		市立砺波総合病院	0	0	0	0	0	
		富山県済生会高岡病院	0	0	0	0	0	
		金沢医科大学氷見市民病院	5	5	0	0	0	
		富山労災病院	4	4	0	0	0	
		厚生連高岡病院	0	0	0	0	0	
		福井県立病院	13	12	1	0	0	
		諏訪赤十字病院	5	5	0	0	0	
		飯田市立病院	0	0	0	0	0	
		長野赤十字病院	0	0	0	0	0	
		松本協立病院	4	3	0	0	0	MSW 1
		オンライン	61	19	33	3	3	臨床検査技師 1 診療放射線技師 1 がん相談員 1
	参加者計	149	103	35	3	3	1 1 3	
第5回 2021.11.2(火) 17:45～		金沢大学	0	0	0	0	0	
		富山大学	0	0	0	0	0	
		福井大学	3	3	0	0	0	
		石川県立看護大学	3	3	0	0	0	
		信州大学	2	2	0	0	0	
		金沢赤十字病院	0	0	0	0	0	
		公立能登総合病院	0	0	0	0	0	
		公立松任石川中央病院	5	5	0	0	0	
		石川県済生会金沢病院	0	0	0	0	0	
		金沢市立病院	4	4	0	0	0	
	○	石川県立中央病院	24	24	0	0	0	
		浅ノ川総合病院	0	0	0	0	0	
		富山市民病院	4	4	0	0	0	
		富山県立中央病院	3	3	0	0	0	
		富山赤十字病院	2	2	0	0	0	
		金沢医科大学氷見市民病院	2	2	0	0	0	
		黒部市民病院	2	2	0	0	0	
		富山労災病院	0	0	0	0	0	
		福井県立病院	11	9	1	0	0	栄養士 1
		諏訪赤十字病院	8	8	0	0	0	
		長野赤十字病院	0	0	0	0	0	
		松本協立病院	2	2	0	0	0	
		オンライン	52	15	32	1	0	その他 2 理学療法士 1 臨床心理士 1
	参加者計	127	88	33	1	0	2 1 2	
第6回 2021.12.7(火) 17:45～		金沢大学	0	0	0	0	0	
		福井大学	0	0	0	0	0	
	○	金沢医科大学	2	2	0	0	0	
		石川県立看護大学	10	7	0	0	0	学生 3
		信州大学	4	4	0	0	0	
		恵寿総合病院	2	2	0	0	0	
		石川県済生会金沢病院	0	0	0	0	0	
		国立病院機構金沢医療センター	0	0	0	0	0	
		金沢市立病院	3	3	0	0	0	
		小松市民病院	10	10	0	0	0	
		公立松任石川中央病院	6	5	0	0	0	心理士 1
		石川県立中央病院	21	21	0	0	0	
		富山県立中央病院	4	4	0	0	0	
		高岡市民病院	0	0	0	0	0	
		市立砺波総合病院	0	0	0	0	0	
		富山県済生会富山病院	3	2	0	0	0	社会福祉士 1
		富山県済生会高岡病院	0	0	0	0	0	
		厚生連高岡病院	0	0	0	0	0	
		黒部市民病院	1	1	0	0	0	
		富山労災病院	4	4	0	0	0	
		福井県立病院	4	3	1	0	0	
		諏訪赤十字病院	2	2	0	0	0	
		飯田市立病院	0	0	0	0	0	
	松本協立病院	2	2	0	0	0		
	オンライン	41	21	14	0	1	臨床心理士 1 理学療法士 1 その他 3	
	参加者計	119	93	15	0	1	1 1 8	

2021年度 石川県立看護大学

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

テレビ会議システムを利用した ライフステージ事例検討会

多職種とともに日頃のがん患者への関わりをふり返りましょう

北信4県のテレビ会議システムが設置されている施設を利用して行います。
施設の垣根を越えて、日頃のがん患者様やご家族へのケアについて意見交換しましょう。

◆開催日程（8回予定）

2021年 6月1日(火) 7月6日(火) 8月3日(火) 10月5日(火)
11月2日(火) 12月7日(火)
2022年 2月1日(火) 3月1日(火)

詳細はホームページをご覧ください。
石川県立看護大学
<http://www.ishikawa-nu.ac.jp/>

◆開催時間 17時45分～18時45分
(事例検討：45分、ミニレクチャー：15分)

◆対象 看護師、医療従事者、医療関係の学生、
がん看護専門看護師申請予定者



◆参加方法 ①北信がんプロのテレビ会議システムがある会場施設での参加
※開催予定施設につきましては、裏面をご覧ください。
②オンラインでの参加(YouTube配信を視聴)
※参加申込後、メールにて詳細をご連絡します。

◆内容 1) 事例検討：外来化学療法、在宅の患者支援、倫理調整、
家族看護、緩和ケアなど
2) ミニレクチャー：OCNSの他、医師や薬剤師等がミニレクチャーを担当

◆参加費 無料

◆アドバイザー◆

- ・牧野智恵：石川県立看護大学 成人看護学 教授（がん看護専攻）
- ・各施設のがん看護専門看護師（OCNS）

◆参加申込先 会場での参加は開催予定施設の担当者へご連絡下さい。
※オンラインでの参加は看護大学 岡山 ganpro-j@ishikawa-nu.ac.jp へご連絡下さい。

◆お問い合わせ先 石川県公立大学法人 石川県立看護大学 岡山
〒929-1210 石川県かほく市学園台1-1 TEL (076)281-8300 FAX (076)281-8319

企画・運営 石川県立看護大学

主催：超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）
(石川県立看護大学・金沢大学・金沢医科大学・福井大学・富山大学・信州大学 共同企画事業)



2021年度 開催施設 及び 年間開催スケジュール

※外部から参加される方は前日までに開催予定施設の担当者までご連絡下さい。
 なお、4月・5月・9月・1月は開催しません。

	施設名	テレビ会議 システム設置室	6月1日	7月6日	8月3日	10月5日	11月2日	12月7日	2月1日	3月1日
がんプロ 主催 大学	金沢大学	医学類教育棟地階大多目的室、or 附属病院外来診療棟4階CPDセンター	○	○佐伯	○	○	○	○	○	○
	富山大学	看護学科研究棟5階 成人看護学研究室1		○	○	○	○		○樋口	○
	福井大学	附属病院2階がんセンターボード室	○	○	○	○高野	○	○	○	○
	金沢医科大学	基礎研究棟3階 大学院セミナー室		○	○			○上埜	○	
	石川県立看護大学	小講義室2	○	○	○	○	○	○	○	○
	信州大学	医学部基礎5階第2会議室	○	○	○	○	○	○	○	○
石川県	金沢赤十字病院	5階会議室		○	○		○		○	○
	公立能登総合病院	第4会議室		○			○		○	○
	恵寿総合病院	3病棟6階 会議室	○			○		○		○
	石川県済生会金沢病院	討議室	○		○		○	○	○	
	国立病院機構 金沢医療センター	地域医療研修センター 第1研修室		○		○		○	○	
	金沢市立病院	東館3階教育研修室	○		○		○	○		○
	小松市民病院	南館4階第4研修室	○		○	○		○		○
	公立松任石川中央病院	地域医療連携棟会議室		○	○	○			○	
	石川県立中央病院	3階会議室2	○	○	○内村	○	○藤川	○	○	○
浅ノ川総合病院	本館3階研究室	○		○	○	○			○	
富山県	富山県立中央病院	中央診療棟3階 32会議室	○	○	○	○	○	○	○	○
	富山市民病院	地域医療研修センター		○			○		○	○
	高岡市民病院	講義室	○		○			○	○	
	市立砺波総合病院	医局棟5階 カンファレンス室	○平			○		○		○
	富山赤十字病院	3階 講義室		○			○		○	○
	富山県済生会富山病院	消化器内視鏡センター カンファレンス室	○	○	○			○		
	富山県済生会高岡病院	8階 講義室		○		○		○	○	
	金沢医科大学 水見市民病院	教育研修棟 2F 図書室	○		○	○	○			○
	厚生連高岡病院	がん相談支援室	○	○		○		○		
	黒部市民病院	3階会議室		○	○		○	○	○	○
	富山労災病院	大会議室	○		○	○	○			○
福井県	福井県立病院	都度、担当者へ確認	○	○	○	○	○	○	○	○玉村
長野県	諏訪赤十字病院	管理棟会議室	○	○	○	○	○	○	○	○
	飯田市立病院	3階会議室		○		○		○	○	
	長野赤十字病院	第二研修ホール 小会議室	○			○	○			○
ミニレクチャー担当者			平	佐伯	内村	高野	藤川	上埜	樋口	玉村

【○：ライブステージ看護事例検討会開催予定施設】

2
インテンシブコース

2021年度 看護実践セミナー 臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編 を開催して

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

石川県立看護大学 がんプロ企画運営委員

今方 裕子

1. 看護実践セミナーの目的

リンパ浮腫は、がん治療によるリンパ節郭清や、放射線治療、化学療法といったがん治療によって発生する。本セミナーは、リンパ浮腫に関する知識をもち、教育やケアに携われるように、リンパ浮腫の予防的介入から終末期まで様々な段階でのリンパ浮腫のケアを理解する目的で開催している。今年度は、がん看護専門看護師、リンパ浮腫セラピストとして活躍している高地弥里さんを講師としてお招きしセミナーを開催した。以下の目標のもと、基本的な知識から実践につながる内容、演習まで学ぶ機会とした。

2. セミナーの概要とスケジュール

講師：石川県済生会金沢病院 がん看護専門看護師

日本医療リンパドレナージ 中級セラピスト 高地弥里先生

テーマ：臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編

日時：令和3年9月23日（木） 9：30～16：00

場所：石川県立看護大学 1階 研修室

3. 結果

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場参加人数を制限しながらも、より多くの方に参加いただけるようオンラインでも参加者を募り、会場参加とオンライン参加のハイブリット形式で開催した。当日は病院看護師、訪問看護師、理学療法士等様々な場で活動している計65名に参加いただいた。高地CNSには基本的な事柄を分かりやすく丁寧に解説いただき、さらに動画を用いたセルフリンパドレナージのデモンストレーションや実演をしていただいた。講師の方々のご講義や手技に多くを学ぼうと熱いまなざしが注がれ、参加者からより実践的な質問があがった。

セミナー終了後のアンケートには57名から回答を得た。セミナー受講前後の理解・習得度についての自己評価はどの項目も高くなっていた。今後も臨床でより役立つ研修を開催していきたい。



臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編

石川県済生会金沢病院 がん看護専門看護師

高地 弥里

私は2013年に日本医療リンパドレナージ協会認定セラピストの資格を取得し、2015年から所属施設でリンパ浮腫看護外来を行っています。当看護外来では他施設からご紹介頂いたリンパ浮腫の方に携わっており、「浮腫が進んでこれからどうなっていくのか不安だった」「浮腫が大きくなるので死を連想した」と来院時にお話しされることがあります。がん患者さんにとってリンパ浮腫は、発症初期からの対応によりその後の日常生活に支障をきたす症状です。がん患者さんにはリンパ浮腫の発症機序などの情報提供により、未知の不安への軽減につながるの、正しい知識をもって情報提供やセルフケア指導を行えることが大切だと考えています。

今年度は会場とオンラインでのご参加の皆様へより理解が進むよう、アドバンス編講師の時山麻美CNSと動画作成を行い、研修準備をしました。会場参加者に向けては、動画を流す際は直接手技の伝達を行ったり、圧迫療法の製品紹介では見やすい位置への移動や直接製品を手にとって頂いたりなどの体験を講習に取り入れることもできました。リンパ浮腫の解剖生理や浮腫の鑑別、アセスメントの視点を学び、リンパ浮腫予防としてセルフドレナージの基本手技を患者さんに説明することができ、リンパ浮腫のケアに自信がつくようご支援させていただければ幸いです。

最後に、このような貴重な機会を頂きました石川県立看護大学の牧野先生はじめ教員の皆様から感謝申し上げます。



臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編 に参加して

二ツ屋病院 看護師

竹森 結花

以前、がん終末期の患者さんから「マッサージして」と要望があり、その場では見よう見まねで行っていました。私はあの時、患者さんの希望した“マッサージ”を行うことができただろうかと無力感を感じていました。今回、職場で本セミナーのチラシを目にし、自分の知識や技術を磨き、少しでも患者さんに寄り添ったケアをしたいという思いで参加させていただきました。感染対策の下、会場参加で研修させていただきました。

研修では、がん治療に関連して発生するリンパ浮腫の機序から、アセスメント方法、セルフケアマッサージの方法等を学びました。セルフリンパドレナージュは、会場でご教授いただけただけのおかげで、実際の強さも感覚的に学ぶことができました。その中でも、終末期患者さんへの緩和的アプローチについてや具体的なケア方法についても学ぶことができ、改めて自分の行っているケアについて振り返る機会となり、今後のケアへの自信につながりました。現在勤務している病院は、今後も終末期患者さんが入院されてくることもあり、今回の学びをこれからのケアに生かしていきたいと思えます。

臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編 に参加して

松本協立病院 看護師

外山 剛

私は、長野県中信地区の急性期病院に勤務しています。北信がんプロインテンシブコースを受講しており、本研修を知りました。新型コロナウイルス感染症で集合研修ができない中、ハイブリッド形式で企画され、受講も無料であり、迷わず申し込みました。

普段は、化学療法室で勤務している傍ら、乳腺外科の術前術後など、タキサン系抗がん薬に関連したリンパ浮腫に関わる機会も少なくありません。また、終末期のがん患者さんでは、回復困難な浮腫の苦悩を抱えている方も多く、看護ケアに苦慮することがあります。

今までは、書籍などを参考に、スキンケアやリンパドレナージ、弾性ストッキングや弾性スリーブなど、見よう見まねで患者さんに説明していました。本研修では、解剖生理学からはじまり、リンパ浮腫の生理とケアの根拠、弾性着衣の種類など、分かりやすく学ぶことができました。

しかしどうしても習得できなかったことがあります。それは実際どのような手のタッチでセルフリンパマッサージの指導をすれば良いかです。オンライン参加が故に、資料や動画をじっくり眺めてみても、これだけは分かりませんでした。この課題をクリアして、男性看護師であっても患者さんに安心してもらい、セルフケア指導ができるようになりたいと思います。

2021年度 看護実践セミナー

臨床で行なう リンパ浮腫のケア ～基礎編～

参加費
無料

2021年

9月23日(祝) 9:30～16:00 (受付9:00～)

本研修は修了証を発行します

午前講義*リンパ浮腫の基礎知識 午後演習*リンパ浮腫ケアの実際

定員

会場での参加 30名
オンラインでの参加 80名*

※「オンラインでの参加」はWeb会議サービス「ZOOM」を利用して、
ご自宅のPCやスマートフォンからご参加いただけます。

持ち物

昼食
内履き
半袖
半ズボン

午後の演習で
使用します。

講師

石川県済生会金沢病院 高地 弥里 先生
がん看護専門看護師

場所

石川県公立大学法人 石川県立看護大学
教育研究棟2階 成人・老年看護学実習室

託児所あり
(無料)

希望の方は8月20日(金)
までにお申し込み下さい。
※定員になり次第、終了します。

新型コロナウイルス感染症対策と
して、3密を回避すべく「会場での参加」と
「オンラインでの参加」を募ります。会場では
消毒・換気の実施、一人ひとりの間隔を2m以上
あけ、少しでも安全な会場運営を進めて参ります。

申込
QRコード



【申込締切】2021年

9月10日(金) 申し込みは裏面を
ご確認ください。

※定員になり次第、締め切らせて頂きます。

主催 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

(石川県立看護大学・金沢大学・金沢医科大学・福井大学・富山大学・信州大学 共同企画事業)



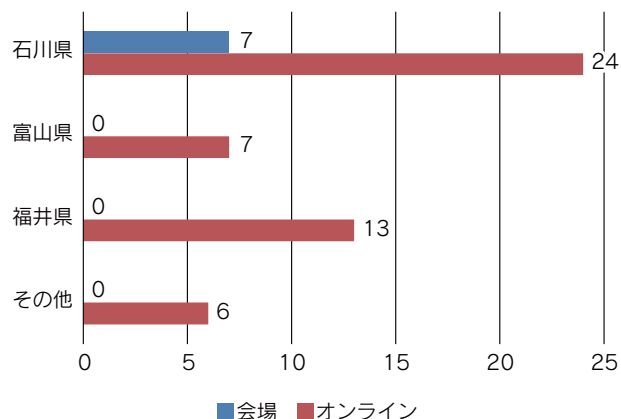
臨床で行なうリンパ浮腫のケア 基礎編 参加者アンケート集計結果

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

担当 岡山 のぞみ

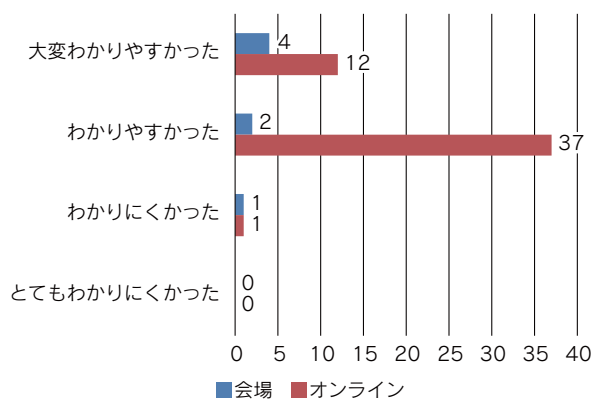
参加者は65名、アンケート回収者は57名（回収率87.7%）であった。

1. 参加者の居住地区（会場n=7、オンラインn=50）

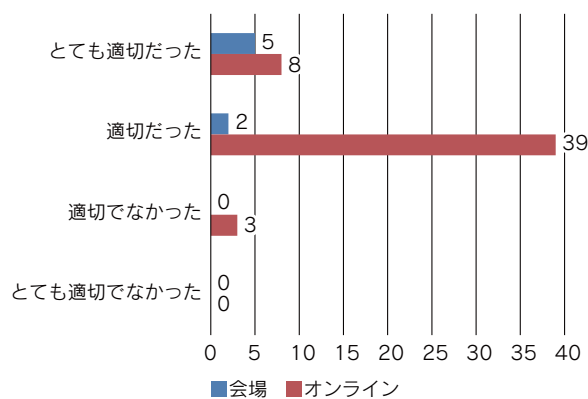


2. セミナーの内容等について（会場n=7、オンラインn=50）

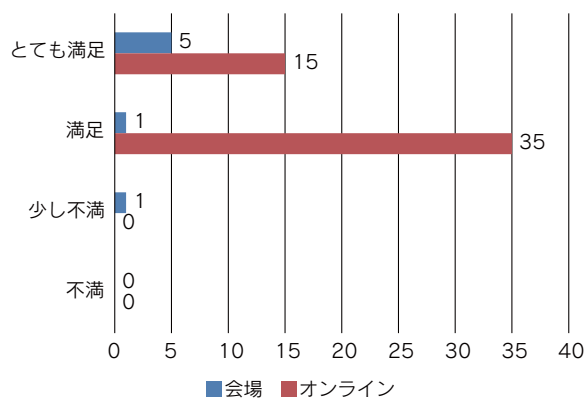
1) セミナーの内容



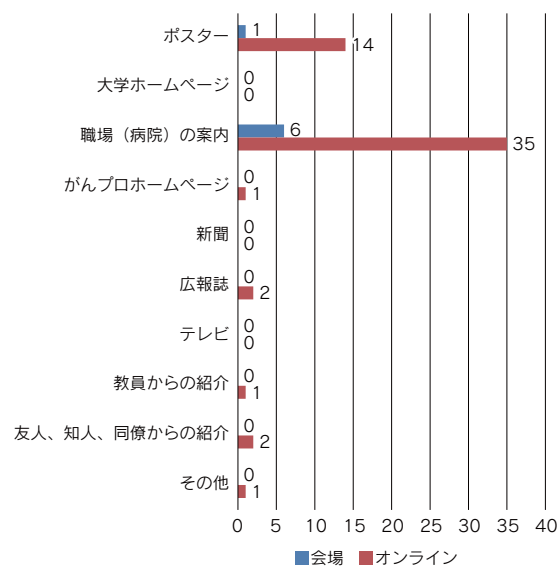
2) セミナーの所用時間



3) セミナーの満足度



4) 情報源（複数回答可）



3. 受講前後の自己評価（会場 n=7、オンラインn=50）

参加者に各項目の理解度について4段階で自己評価をしてもらった。

セミナー受講前

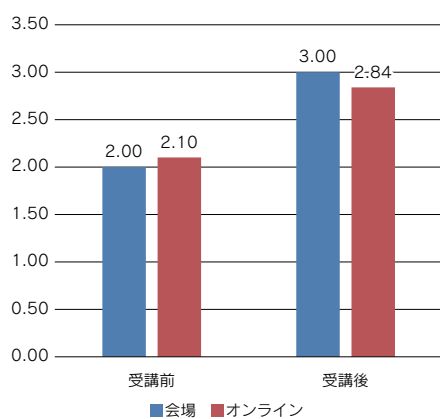
よく知っていた：4点、まあまあ知っていた：3点、少し知っていた：2点、全く知らなかった：1点

セミナー受講後

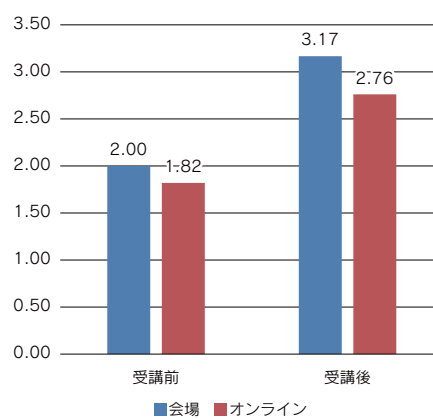
十分習得できた：4点、まあまあ習得できた：3点、少し習得できた：2点、習得できなかった：1点

セミナー受講前後の自己評価の平均点を以下のグラフに示した。どの項目も受講後に評価が上がっていた。

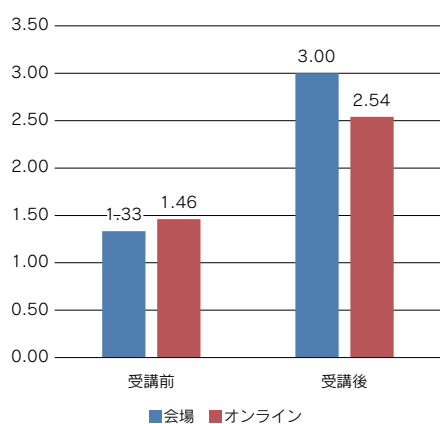
1) 機序・病態生理



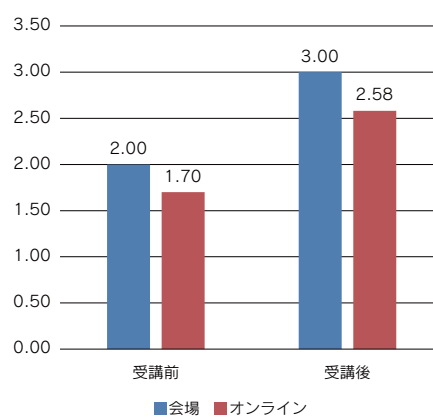
2) アセスメント方法



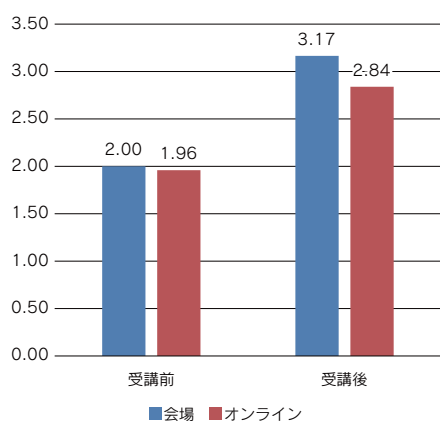
3) 診療報酬と指導内容



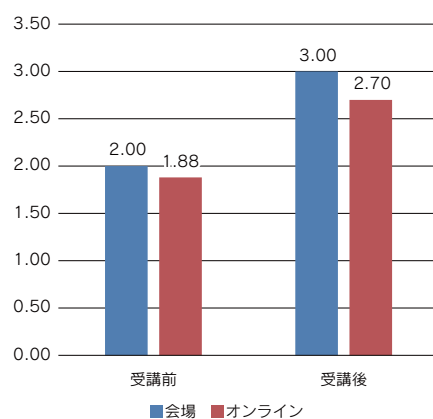
4) 複合的理学療法



5) リンパ浮腫予防

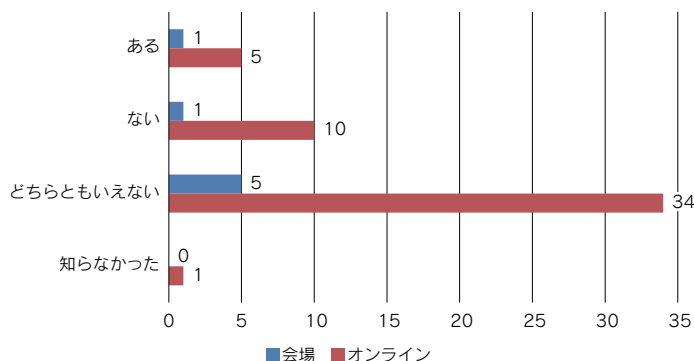


6) 合併症と対処法

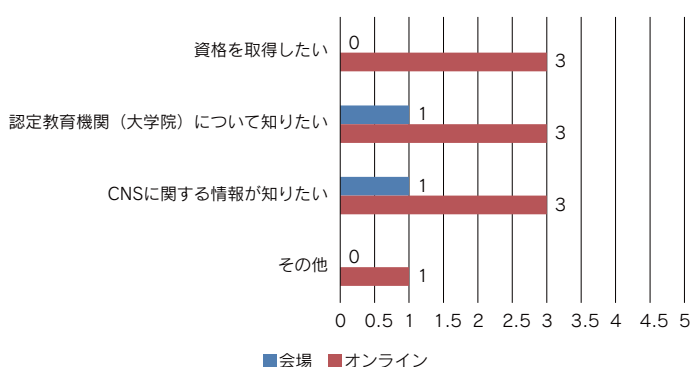


4. がん看護専門看護師について（会場 n = 7、オンライン n = 50）

1) がん看護専門看護師への興味



2) がん看護専門看護師の興味の内容



5. セミナー参加理由（自由回答：複数回答）（ ）内は人数を示す

- ・リンパ浮腫のケアを学びたかったため（28名）
- ・リンパ浮腫への興味・関心があった（6名）
- ・浮腫のある患者さんと接する機会が増えたため（10名）
- ・オンラインで参加が出来るため
- ・リンパ浮腫の対応について悩むことが多かったため
- ・病棟でリンパ浮腫教室を実施するため

6. セミナーへの感想・意見（自由回答：複数回答）

- ・大変分かりやすく、勉強になった。
- ・会場で実際に高地先生からマッサージの強さを体験できたのが良かった。
- ・実際にリンパ浮腫について指導したことはあるが、マッサージの強さや意義など改めて学び、今後の指導に生かしたいと思った。
- ・オンライン開催で参加しやすく、講義内容もわかりやすくて良かった。
- ・オンラインでも、商品の使い方や工夫、マッサージビデオの説明などがあり良かった。
- ・リンパ浮腫だけでなく他の浮腫との違いやそれぞれの対応について知識を深めることができた。
- ・リンパドレナージの方法を学べて良かった。
- ・リンパ浮腫の知識だけでなく、それ以外の浮腫の分類やケアの禁忌について詳しく講義いただいたことで、これまでの患者様の疾患や浮腫の状況など思い出しながら理解でき、非常に参考になった。

- ・今回はマッサージがうまくなれたら…と安易に受講したが、リンパ浮腫を含む浮腫について知識が深められたこと、またリンパマッサージは実際に患者様に施術してはいけない(指導を行う)ことを知れて良かった。
- ・明日からの勤務で講義の内容を思い出して役立てていきたいと思った。
- ・コロナ禍でなくても、ハイブリッド研修は参加しやすいと思った。

7. 今後希望する研修内容 (自由回答:複数回答)

- ・緩和ケア (3名)
- ・ACP
- ・ケアをしている方の自宅でのケア
- ・がん治療の副作用
- ・終末期の酸素療法
- ・がん患者さんの家族支援についての研修
- ・在宅緩和ケアなど病院と地域を結ぶ取り組みなど、アピアランスケア、皮膚障害へのケア、オピオイド持続皮下注の方法、フェンタニルROOの使い方など、実際に結びつく演習
- ・乳腺、婦人科疾患で使用する抗がん剤の薬剤ごとの副作用
- ・疼痛コントロール
- ・アドバンス編を何回か開催してほしい

2021年度 看護実践セミナー 臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編 を開催して

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

石川県立看護大学 がんプロ企画運営委員

今方 裕子

1. 看護実践セミナーの目的

臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編は、基礎編を修了した方々を対象に、基礎編で学んだ知識と技術を活用し臨床で実践していただくためのセミナーである。事例検討・ロールプレイと実技を実践する参加型の研修であり、参加者全員ががん看護CNSやセラピストからの指導を直接受けることができるように定員は少人数としている。今年度は基礎編に引き続き高地弥里さんに加え、がん看護専門看護師、リンパ浮腫セラピストとして活躍している時山麻美さんのお二人を講師としてお招きしセミナーを開催した。

2. セミナーの概要とスケジュール

講師：石川県済生会金沢病院 がん看護専門看護師

日本医療リンパドレナージ 中級セラピスト 高地 弥里先生

ナースソフィア(株) 訪問看護ナースソフィアにいかわ がん看護専門看護師

日本医療リンパドレナージ 中級セラピスト 時山 麻美先生

テーマ：臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編

日時：令和3年10月9日（土） 9：00～13：00

場所：石川県立看護大学 2階 成人・老年看護学実習室



3. 結果

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、募集人数を縮小し感染対策を実施して開催した。当日は石川県、富山県から4名に参加いただいた。

前半はリンパ浮腫を発症した女性の事例を用い、アセスメントと指導内容についてのグループワークと発表を行った。また、リンパ浮腫発症のため相談を受ける場面を想定し、精神的ケア、身体状況のアセスメント、セルフマッサージ指導のロールプレイを行った。参加者は看護師役、患者役、観察役をそれぞれ体験した。

後半は講師によるロールプレイの模範例を示した後に、終末期患者への下肢・腹水マッサージの演習を行った。参加者は講師から直接指導を受けながら患者役と看護師役の両者を体験し、患者としてマッサージを受ける感覚を肌で感じ取りつつマッサージ方法やポイントを熱心に学んでいた。少人数での開催となったが、より講師への質問がしやすい雰囲気、熱心に技術を習得し臨床で活かそうとされる姿勢がみられた。

セミナー終了後のアンケートには参加者全員からの回答を得た。セミナーの理解度・満足度は高く、「実践編ということで、自分がやってみないと分からない部分を知ることが出来て大変良かった」「実際に自身の患者さんとの関わり方、注意点などを再確認できるきっかけになった」などの意見をいただいた。今後も臨床でより役立つ研修となるよう、講師の方々とともに研修を実施していきたい。



臨床で行なうリンパの浮腫ケア アドバンス編

ナースソフィア株式会社 訪問看護ナースソフィアにいかわ がん看護専門看護師
時山 麻美

臨床で行なうリンパ浮腫のケアの基礎編、アドバンス編は、毎年多くの北陸の看護師に参加していただいています。昨年度と同様、今年もコロナ禍での開催となり、アドバンス編はマッサージの手技を伝達するため、オンラインでの開催は難しく、感染拡大防止対策をとり研修当日まで感染状況をみながら準備していただいた石川県立看護大学の先生方には、大変感謝いたします。

自施設でも集合研修が少ない中、4名の看護師が参加されました。少人数であったことで、リンパ浮腫予防指導についての事例検討もより深く意見交換することができ、ロールプレイも役になりきり実践してもらうことができました。セルフリンパドレナージの指導は、リンパ浮腫指導管理料の算定要件にもなっており、臨床現場ですぐに役立つ内容であったと思います。また終末期患者へのリンパマッサージの演習は毎年好評であり、今回はじっくりと看護師役、患者役を体験してもらうことができました。研修を継続することで多くの看護師にリンパ浮腫ケアを広め、看護師が自信をもってケアを提供し、リンパ浮腫ケアを必要としている多くの方々のケアに役立ててほしいと思います。北陸でもここ数年でリンパ浮腫ケアに携わる医療従事者が増えており、情報交換し学びあいながら、北陸のどこでも安心して質の高いケアが提供できるよう、精進したいと思います。



臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編 に参加して

独立行政法人 国立病院機構
金沢医療センター 看護師
榎 江梨子

私は、がん相談支援センターに所属し、がん患者さんの相談支援業務を行っています。これまで、リンパ浮腫について本を読んだり、リンパマッサージの動画を見たりして、がん患者さんの相談対応のために自己学習していました。しかし、リンパマッサージの手技は、触って経験しないと分からない部分もあり、実際の指導を受けて知識と技術を学び、自信を持って患者さんに指導し、支援に繋がりたいと思っていました。

今回の研修では、患者さんからリンパ浮腫発症の相談を受けた場面の事例検討、患者さんへのリンパ浮腫ケア指導場面のロールプレイを行いました。リンパ浮腫を進行させないために、患者さんがセルフケアを継続してできることを目標に具体的な内容の指導に繋げていく過程を学ぶことが出来ました。

また、終末期患者さんに対するリンパ浮腫の演習では、肌への触れ方、手の力の入れ具合などを講師の方に直接教えていただくことが出来ました。そして、自分も患者役として体験したことがとても参考になりました。研修後は、がん相談で関わる入院中の患者さんに対して、研修で学んだ手技をさせていただいています。安楽な体位を工夫し、患者さんに直接触れて、心地よいと感じてもらえるように優しくマッサージをすると、患者さんの穏やかな表情を見ることが出来て、安楽に繋がっていることを感じます。

今回の研修で学んだ知識と技術を生かして、これからも患者さんへの支援に繋がっていきたいと思います。

石川県立看護大学 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

2021年度 看護実践セミナー

参加費
無料

臨床で行なう リンパ浮腫のケア

～アドバンス編～

アドバンス編では
より実践的な内容となるため
対面でのみ開催します。

講師

石川県済生会金沢病院 がん看護専門看護師
日本医療リンパドレナージ中級セラピスト

高地 弥里 先生

株式会社看護ナースソフィアにいかわ
日本医療リンパドレナージ中級セラピスト

時山 麻美 先生

演習内容

- 患者指導場面のロールプレイ
- マッサージの体験等 (本学でフェイスシールドをご用意します)

対象

医療職者 **10**名 2018年度以降本学で開催された
リンパ浮腫セミナー(基礎編)に参加経験のある方

2021年

10月9日(土)

9:00～13:00 (受付 8:45～)

本セミナーは修了証を発行します

申込締切: 2021年10月1日(金)

(定員になり次第、締切とさせていただきます)

WEBにてお申し込み下さい。
右記のQRコードからアクセスできます。
詳しくは裏面をご覧ください。



会場

石川県公立大学法人
石川県立看護大学 教育研究棟2階 成人・老年看護学実習室

主催: 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

(石川県立看護大学・金沢大学・金沢医科大学・福井大学・富山大学・信州大学 共同企画事業)

【お問い合わせ先】 石川県公立大学法人 石川県立看護大学

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地

TEL 076-281-8300(代) E-mail: ganpro-j@ishikawa-nu.ac.jp (担当: 岡山)



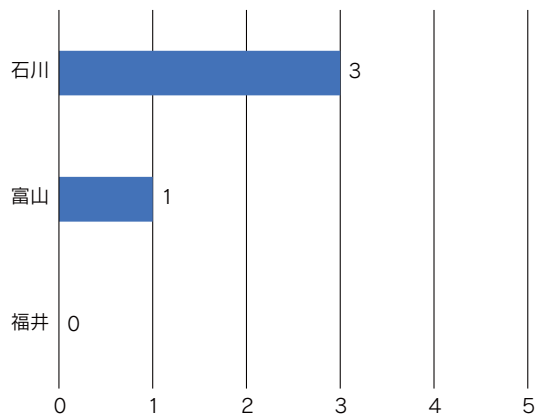
臨床で行なうリンパ浮腫のケア アドバンス編 参加者アンケート集計結果

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

担当 岡山 のぞみ

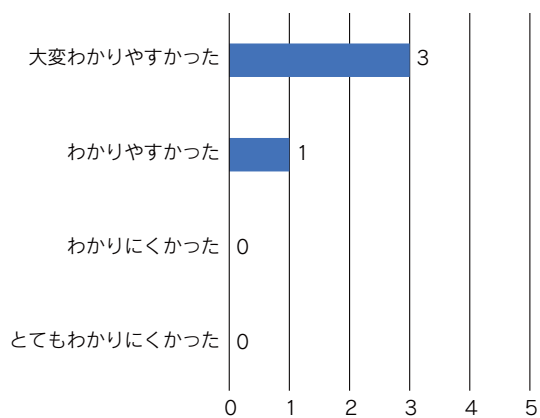
参加者は4名、アンケート回収者は4名（回収率100.0%）であった。

1. 参加者の居住地区（n=4）

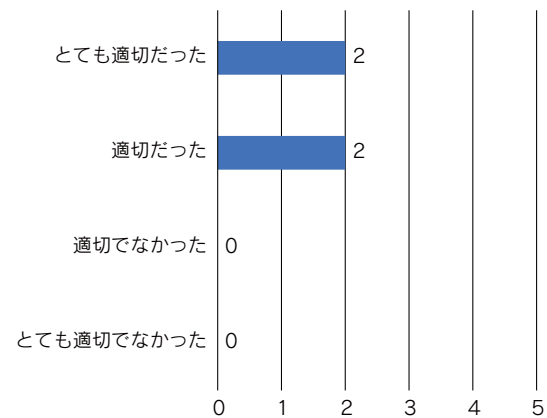


2. セミナーの内容等について（n=4）

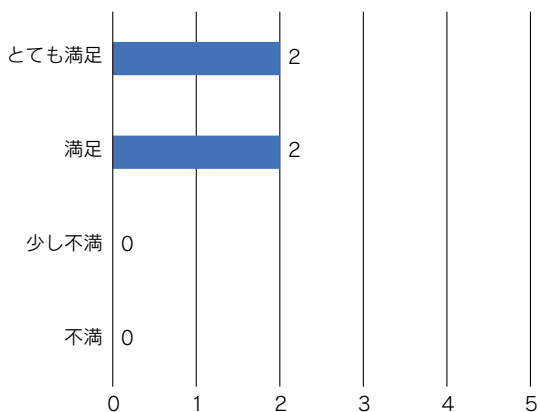
1) セミナーの内容



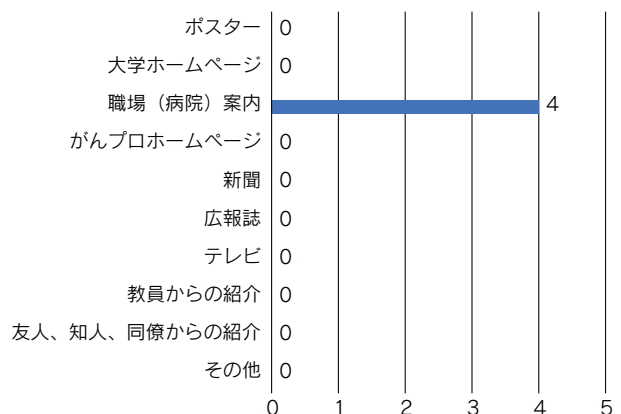
2) セミナーの所用時間



3) セミナーの満足度



4) 情報源（複数回答可）



3. セミナー参加理由（自由回答：複数回答）

- ・リンパ浮腫の患者さんへの関わり方や指導について学び、外来での患者さんへの対応に活かしたいと思ったため
- ・リンパ浮腫の患者さんへの指導など悩むことが多かったため
- ・リンパ浮腫についての知識、技術を得たかったため

4. 実技、ロールプレイの感想・意見（自由回答：複数回答）

- ・今後に活かせると思った。
- ・実際に自身の患者さんとの関わり方、注意点などを再確認できるきっかけになった。

5. セミナーへの感想・希望（自由回答：複数回答）

- ・実践編ということで、自分がやってみないと分からない部分を知ることが出来て大変良かった。
- ・モヤモヤしていたことが解消され、ぜひ活かしていきたいと思った。
- ・終末期の浮腫に対するマッサージにも興味があったので勉強になった。

CNS関係者による看護事例検討会 を開催して

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

石川県立看護大学 がんプロ企画運営委員

瀧澤 理穂

7月17日（土）および9月7日（火）にCNS関係者による看護事例検討会を開催した。

1回目は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため三密を回避した会場とオンラインでのハイブリット開催形式を採用した。2回目は平日夕方の開催であったため、利便性を踏まえて完全オンライン開催とした。

1回目の参加者は、北陸3県のがん看護および老人看護のCNS、CNSの教育者、CNSコース在籍中の大学院生、CNSの受験予定者など計22名であった。がん看護CNSから事例提供があり、治療方針や今度の生き方に関する患者、家族、医療者の意見の相違に対して真剣に話し合われた。CNSが実践した方略について意見交換がなされ、多くの学びがあった。

2回目は今年度CNSを受験予定のCNS候補生から、排泄管理に難渋している患者の自宅退院に向けての調整に関する事例提供があった。参加者は計18名であった。患者に寄り添った実践的な取り組みについて立場を超えて活発なディスカッションが行われた。CNSの専門性や経験に基づいた的確な助言もあり、有意義な会となった。



第1回CNS関係者による看護事例検討会 に参加して

ナースソフィア株式会社 訪問看護ナースソフィアにいかわ がん看護専門看護師
時山 麻美

CNS関係者による看護事例検討会は毎年行われており、今年度は、コロナ禍であるためオンラインにて事例検討会を行いました。私はがん看護専門看護師の更新の年であり、様々な意見を北陸のCNS関係者と検討したいと考え事例提供をしました。

初回の更新では、専門看護師の6つの役割（実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究）について、それぞれ5年間の活動の総括と代表的な事例についてまとめ、提出し申請する必要があります。その中でも倫理調整として関わった印象深い事例について検討しました。

臨床現場では、がんの終末期ケアにおいて看護師が「何か変だ」「何かもやもやする」と感じるものが少なくありません。その状況でCNSは、その気づきを看護師と一緒に考えていく役割があります。今回の事例でも、倫理的ジレンマはどうして起きているのか、生命倫理の4原則で考えるとどうか、患者にとって最善は何か、CNSがとった方略や対応策はどうであったかを意見交換することができました。

CNSの先輩方から多くの意見をいただき、私自身の事例の捉え方も少し変化し問題が明確になりました。CNS関係者による看護事例検討会は、CNSを目指す学生、更新を控えているCNS、CNSのブラッシュアップ、CNS関係者の交流の場として、とても有意義な機会であり、今後も積極的に参加していきたいと思います。

第2回CNS関係者による看護事例検討会 に参加して

富山赤十字病院 看護師

印幡 香

今回私はがん看護CNS候補生として、第2回CNS関係者による看護事例検討会にオンラインで参加しました。事例検討会では、家に帰りたいと希望する終末期がん患者に対して、私が実践したコーディネーションの事例を発表させていただきました。

北陸3県の各施設で活躍されているCNSの方々や石川県立看護大学の先生方との意見交換を通して、コーディネーションのプロセスで、CNSは患者や家族に必要なケアが円滑に行われるために、病院や地域の医療福祉関係者のそれぞれの考えや立場を見定めて働きかけることや関係者間の協働が促進されるように環境を整えていく必要があることを学びました。CNSの方々の多角的な視点に触れることができ、事象を捉える自分自身の視野の狭さにも気づくことができました。

がん看護CNSを目指すには、CNSの役割を果たすための思考力や実践力をより一層高めていかなければならないと感じています。事例検討会で学んだことを意識しながら、日々のがん看護を大切に実践していきたいと思えます。

貴重な学びの機会を与えてくださったCNSの皆さま、北信がんプロの皆さまに感謝いたします。



石川県立看護大学
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)



2021年度 第1回CNS関係者による 看護事例検討会

修了証を
発行します

日時

2021年7月17日(土) 15:30~16:30

内容

16:00~17:00 事例検討

事例提供:株式会社 訪問看護ナースソフィアにいかわ
がん看護専門看護師 時山 麻美さん

※事例検討会終了後 30分程度で北陸CNS会 総会を予定しております。
ご都合のつく方は引き続き、ご参加の程よろしくお願い致します。

参加方法

下記のアドレスまでメールで申し込みください。
参加申し込みいただいた方に、後日ZOOMの
参加URLをお送り致します。

※Web会議サービス「ZOOM」を利用。ご自宅のPCや
スマートフォンからご参加いただけます。

参加資格

- ・CNSの方(どの領域の方でも)
- ・今後CNS受験予定の方
- ・CNSコースの大学院生

お問い合わせ

〒929-1210

石川県かほく市学園台1丁目1番地 石川県立看護大学
がんプロ担当(岡山)

TEL:076-281-8300(代表)

E-mail: ganpro-j@ishikawa-nu.ac.jp

共催:北陸CNSの会



石川県立看護大学
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

2021年度

第2回CNS関係者による 看護事例検討会

日時

修了証を
発行します

2021年9月7日(火)17:45~18:45

内容

17:45~18:45 事例検討

事例提供: 富山赤十字病院 看護師 印幡 香さん

参加方法

下記のアドレスまでメールで申し込みください。
参加申し込みいただいた方に、後日ZOOMの
参加URLをお送り致します。

※Web会議サービス「ZOOM」を利用。ご自宅のPCや
スマートフォンからご参加いただけます。

参加資格

- ・CNSの方(どの領域の方でも)
- ・今後CNS受験予定の方
- ・CNSコースの大学院生

お問い合わせ

〒929-1210

石川県かほく市学園台1丁目1番地 石川県立看護大学
がんプロ担当(岡山)

TEL: 076-281-8300(代表)

E-mail: ganpro-j@ishikawa-nu.ac.jp

共催: 北陸CNSの会



CNS関係者による看護事例検討会 参加者アンケート集計結果

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

担当 岡山 のぞみ

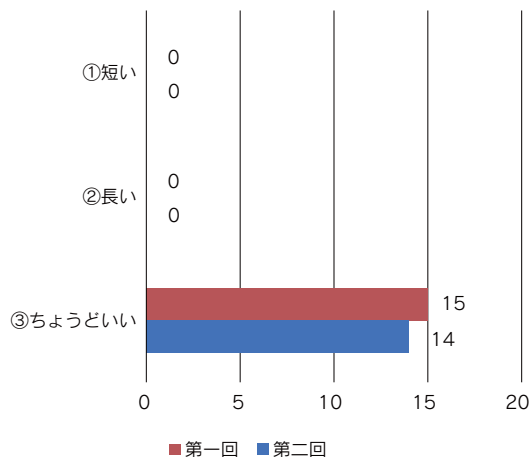
7月17日開催の第一回CNS関係者による看護事例検討会参加者は22名、アンケート回収者は15名(回収率 68.2%)であった。

9月7日開催の第二回CNS関係者による看護事例検討会参加者は18名、アンケート回収者は14名(回収率 77.8%)であった。

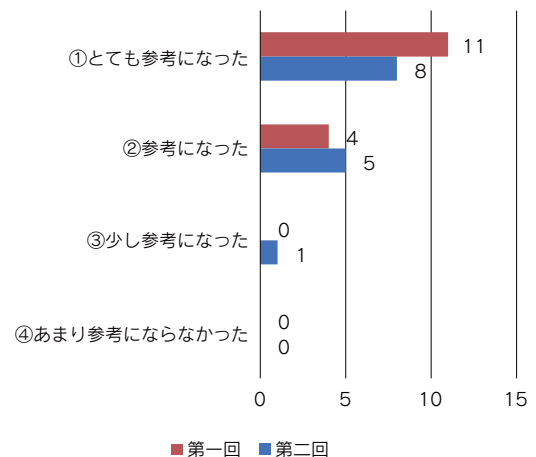
第一回、第二回ともにオンライン (ZOOM) にて開催した。

1. 事例検討会の評価について (第一回 n = 15、第二回 n = 14)

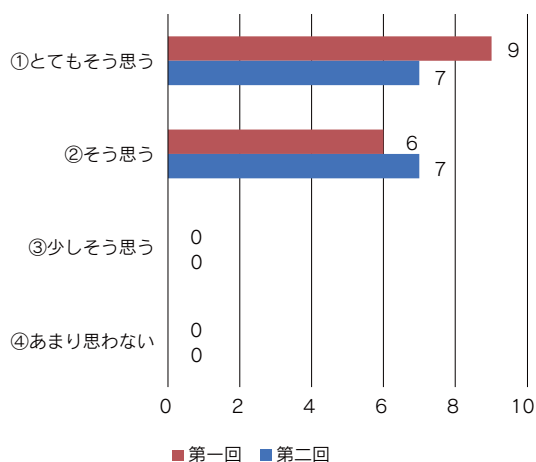
1) 所要時間はどうだったか



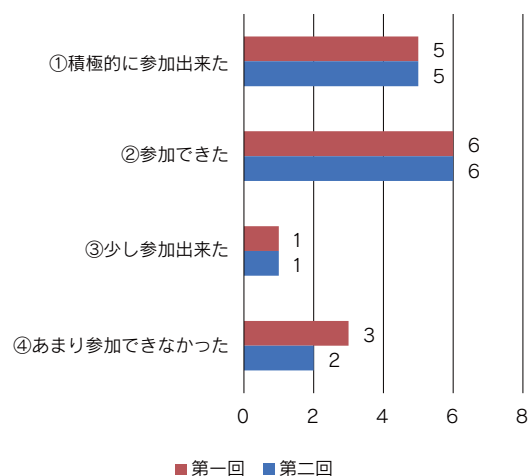
2) 参考になったか



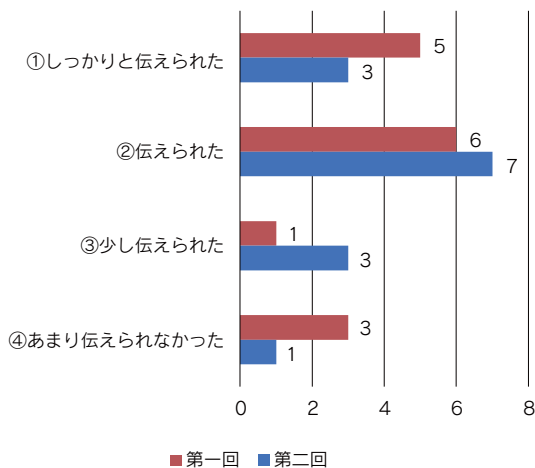
3) 日頃のがん看護実践を振り返る機会となったか



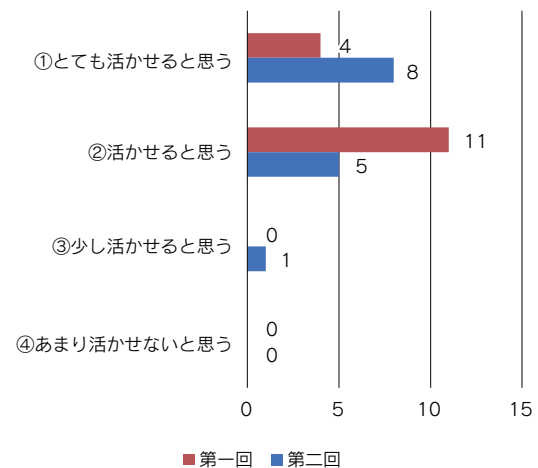
4) 積極的に参加できたか



5) 意見などを伝えることができたか



6) 今後に活かせると思うか



7) オンライン開催について

- ・発言のタイミングは、ZOOM機能で手上げた人を画面上で司会が順に当てていくなど、統一した方が話しやすいと思った。
- ・ZOOMならではの意見交換ができて良かった。

2. 検討してみたい事例のテーマ・内容について

- ・倫理に関する感性を維持したいので、倫理の研修会があると良い。
- ・他分野CNSからの事例検討を希望する。
- ・AYA世代、認知症がん患者の意思決定支援
- ・実践の評価、他職種への影響や協働についての客観的評価
- ・高度実践の取り組み
- ・CNSとCNやジェネラリストのリーダーとの違いについて深ぼる内容

3. 自由記載

- ・初めて参加させていただいた。多くのCNSの皆さまのご意見をお聞きすることができ大変勉強になった。
- ・紙でそれぞれの立ち位置を書きながら聞いていた。悩ましい事例がまとまって方向性が見えていく過程がすっきりし、思考の整理ができた。
- ・久しぶりに皆さんのお元気そうな姿を見れて嬉しかった。感染状況をみつつ、対面とオンラインをハイブリッド形式にするのもいいのかなと思った。
- ・CNSの実践を身近で感じることができて良かった。CNSはこれ大事だよねと感じられた。貴重な時間になった。また、今回は言語化していく過程を体験できたなと感じた。
- ・勉強になった。また久しぶりに牧野先生、皆さんのお顔が見られて嬉しく元気になった。
- ・倫理調査の書き方のヒントを教えてもらった。
- ・実践を離れているので、CNSの視点や大切なケアの確認をする機会となっている。事例検討で実践と繋がる安心感になる。
- ・ジェネラリストが行う退院調整とOCNSの退院調整との違いを追及していきたいと感じた。
- ・本日に限らず事例検討会ではCNSの先輩方の意見を聞いて、CNSの意図した実践や役割について考える機会となっている。事例を共有して学びを深める事が出来る貴重な時間となった。
- ・専門看護師の担うべき役割を深く考えるとともに、日々の看護では役割を意識した思考と実践を行うことの必要性を改めて認識する機会となった。

第 27 回 石川緩和医療研究会 プログラム

日時：2021年7月17日(土)13:00～15:00

参加方法：オンライン開催 (ZOOM)

***** プログラム *****

13:00～13:05 開会の挨拶 石川緩和医療研究会 代表世話人
医療法人社団博仁会 小池病院 川浦 幸光

13:05～14:00 第一部 一般演題 座長 石川県立看護大学 松本 智里

1. 「身体症状症 (DSM-5) の診断がついて多量の鎮痛薬を減量できた肺癌の一例」
国立病院機構金沢医療センター 緩和ケアチーム 小室 龍太郎

2. 「余命が日単位のがん終末期の利用者と家族への在宅療養支援」
医療法人社団すまいる おれんじ訪問看護ステーション 長 光代

3. 「終末期看護を体験した若手看護師へのグリーフワークの実践報告」
板橋中央総合病院 木村 日菜乃
金沢大学附属病院 干場 美沙希
石川県立看護大学 瀧澤 理穂
石川県立看護大学 牧野 智恵

4. 「コロナ禍における緩和ケア病棟の取り組み」
石川県済生会金沢病院 齋藤 優生

14:10～15:00 第二部 特別講演 座長 石川県立看護大学 牧野 智恵

演題：「コロナ禍の状況における緩和ケア実践の現状とその対策」

演者：神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科 特命教授 木澤 義之

15:00～ 閉会の挨拶 第27回石川緩和医療研究会 当番世話人
石川県立看護大学 成人看護学講座 教授 牧野 智恵

主催：石川緩和医療研究会

共催：超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)、北陸 CNS の会

第27回石川緩和医療研究会 を開催して

大学院実践看護学領域・成人看護学(がん看護)分野 教授
北信がんプロ・コーディネーター、本学がんプロ企画運営委員長
牧野 智恵

2021年7月17日(土)、石川緩和医療研究会との共催にて、「第27回石川緩和医療研究会」を完全リモートで開催し、石川県立看護大学の牧野智恵が当番世話人を務めた。71名の参加申し込みがあり、テーマへの関心の深さが伺えた。

第1部では緩和医療に携わっている医師や看護師からの研究報告、第2部では神戸大学医学部附属病院緩和支援治療科の木澤義之特命教授による、「コロナ禍の状況における緩和ケア実践の現状とその対策」の講演をいただいた。

第1部は研究報告が行われ、4演題が発表され活発な意見交換が行われた。

第2部は木澤先生による講演で、新型コロナウイルス感染症によって、緩和ケア病床を持つ全国の病院への面会制限や、それへの対応策に関するアンケート結果が報告された。面会以外のコミュニケーション対応として、リモート面談等をしている施設もあるが、何もしていない施設が30%あることが報告された。感染防御しながら、いかにケアを続けるか、地域の感染状況に応じたフレキシブルな対応が求められるとの話があった。

また、重篤な病気を持つ患者とのケアのプログラムの紹介と概要についてもお話しがあった。コロナ禍であるが故に、がん患者への治療に限界が生じていることを含め、入院の際に十分なコミュニケーションをとっていくことが重要であるとのことであった。



コロナ禍の状況における 緩和ケア実践の現状とその対策

神戸大学大学院医学研究科
先端緩和医療学分野
木澤 義之



新型コロナウイルス感染症に対 する対応に関するアンケート

日本緩和医療学会 COVID-19関連特別ワーキンググループ
日本ホスピス緩和ケア協会
国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援部

調査のまとめと提言 1

・緩和ケア病棟の面会制限は施設によりかなり温度差がある。患者の予測される予後が短くなると面会制限が緩やかになる傾向が見られる。→感染防衛しながら、いかにケアを続けるか、地域の感染状況に応じたフレキシブルな対応が必要

・緩和ケア病棟で無線インターネットが使用できる施設は15%に過ぎない。また、直接面会以外の方法で家族等とのコミュニケーションが取れるように整備している施設は約半数である

→直接会わないでも、コミュニケーションは取れる、積極利用を例) わが家では今年92歳になる父にAmazon Echoを使って、朝6:30と夜8:30に定期コールしている、もう2ヶ月になるけど格段にいい感じ

調査のまとめと提言 2

・緩和ケア病棟の入棟面談については、本人の直接来院を必須としている施設もあり、患者・家族の大きな負担になっている。この機会に、感染予防と患者・家族・医療機関の利便性を考えて、Webを用いた入院入棟面談の仕組みが必要かもしれない

→ リモートでいいものはリモートに、かえってアクセシビリティが高まることも

・緩和ケアチームに関しては、Social distancingの実践について、かなりチームによりその対応に差異がみられる。緩和ケアチームは病棟横断的に動くため、チームの編成方法、ラウンド方法、カンファレンスの持ち方のさらなる工夫が求められる

→ プライマリチームの支援にさらに重点を置く考え方はどうだろう

緩和ケアの捉え方の変化

- すべての人が基本的に受けることができる医療の一つとして捉える
- Universal Health Coverage
- Serious Illness
- 近い将来に死亡する可能性が極めて高いが、適切な治療によって治癒する可能性がある病状を含む
 - ・例) 急性肝不全で肝移植の対象となる患者、重篤な交通外傷の患者、エボラ出血熱に罹患した患者など、そしておそらくCOVID-19でICUに入室した人も

われわれの社会は元通りに戻るのか？

- 完全にもとに戻るのには難しいのではないのかというのが個人的な見解です、われわれはコロナウイルスと共存して生きていく必要があります
- 海外との自由な往来ができるのは来年、現実的には再来年かもしれません
- 毎年のワクチン接種、Social distancingやリモートワーク、Web会議などはもっと日常的なものになっていくと思います
- かといって、それはすべての活動や行動が制限されるものではありません

症状緩和

- 症状緩和に関してはがんの緩和ケアと変わらない
- 特に重要なのは呼吸困難への対応とせん妄への対応
- 呼吸困難
 - 労作時呼吸困難があり増悪が予想される時のモルヒネ開始
 - 鎮静に対する意向確認、指示
 - 生命維持治療に関する意向の確認

重篤な疾患を持つ患者との話し合い

- 予後について話し合う
- 治療・療養の場について話し合う
- **基本は治療・ケアのゴールを共有するための話し合い**
Goals of care discussion
 - Hope for the best Prepare for the worst (最善を期待し、最悪に備える)
 - Wish and worry (～となるように全力を尽くしたいと思います。でも、@@@@@となることをとて心配しています)

重篤な疾患を持つ患者との話し合い：現実

- 病状を伝える
- 状況が重篤であることを伝え、改善させるための最善と考えられる治療・ケアとリスクを伝え同意を得る
- 最悪の状況に備えて、Code statusを確認する
- 患者の価値観を聞きそれにあつた治療・ケアを提供するための**治療・ケアのゴールを共有するための話し合い (Goals of care discussion) は行われていないことが多い**

重篤な病気を持つ患者のケアのプログラムの紹介と概要

本講義の内容は、米国のDana Farber Cancer Institute, Atul Gawande, M.D.の支援のもと、Ariadne Labsにおいて開発され、Brigham and Women's Hospitalや、Harvard T.H. Chan School of Public Health等との共同事業として実施されている、The Serious Illness Care Programを、日本の実状に適用させる為に許諾を得て一部改変しています。



Bottom Line

- コロナウイルス感染患者に対する意思決定のコミュニケーションは、通常のSerious Illnessと変わらない
- 「治療とケアのゴールを話し合う」こと、「プランBについて話し合う習慣を身につける」ことが重要
- 話す<聴く
 - 最善を期待し、最悪に備える
 - Wish and worry (～となるように全力を尽くしたいと思います。でも、@@@@となることをとても心配しています)

第27回石川緩和医療研究会 に参加して

石川県立看護大学大学院博士前期課程 本科生2年

実践看護学領域・成人看護学分野

池上 暁

第27回石川緩和医療研究会は、2021年7月17日（土）に開催された。

プログラム第一部の一般演題では、精神疾患を併存する在宅療養がん患者の減薬や在宅療養支援の事例検討、看護師のグリーンワーク、コロナ禍における緩和ケア病棟の取り組みに関する発表があった。改めて、患者・家族の立場に立って何が最善かをチームで考えていくことの重要性を感じた。

第二部の特別講演では、神戸大学医学部附属病院の木澤義之先生より、「コロナ禍の状況における緩和ケア実践の現状とその対策」をテーマにご講演いただいた。緩和ケア病棟の縮小や入院患者の面会制限は施設によって差があるが、感染状況に応じたフレキシブルな対応や、直接面会ができなくとも、デバイスの使用による積極的な患者家族間のコミュニケーション支援を行うことの必要性を知った。特にデバイスの使用は利便性が高く、むしろ患者家族の負担軽減にもなりうる可能性を示されており、新型コロナウイルス感染症の負の影響は大きいですが、あえてこれを好機と捉え、既存の方法を見直すことも大切であることを学んだ。

全体を通して、昨今の新型コロナウイルス感染症流行に伴う緩和医療の現状を基にした内容が多く、実践への活用に繋がる学びを得ることができた研究会であった。

第27回

石川緩和医療研究会

第27回石川緩和医療研究会 当番世話人
石川県立看護大学 成人看護学講座 教授 牧野智恵

2021年

7月17日 土
13:00-15:30

参加方法：オンライン(ZOOM会議システム)
参加費：無料
参加人数：制限なし

希望者には
修了証を発行
します

第一部

13:05～14:15 一般演題

(発表時間は一題10分程度、質疑応答3分程度)

第二部

14:20～15:00 特別講演

演者：木澤 義之先生(神戸大学医学部附属病院緩和支援診療科)

演題：「コロナ禍の状況における緩和ケア実践の現状とその対策」

【参加申込締切】 7月5日(月)

【参加申込方法】①Web または ②メール にて必要事項を記入しお申し込み下さい。

①Webでのお申し込み 右記QRコードより申込みをお願いします。



②メールでのお申し込み

石川県立看護大学 岡山宛 ganpro2@ishikawa-nu.ac.jp

・氏名 ・所属 ・郵便番号、住所 ・連絡先 ・修了証発行希望の有無

(演題を申込の場合は ・演題名 ・発表者名 を追記願います)

※申込者には、後日ZOOMのURLおよび抄録集をお送りします。

◆演題募集◆

【演題テーマ】「がん医療・看護」「緩和ケア」

【演題締切日】6月28日(月)までに、上記、申込方法よりお願いします

【抄録締切日】7月7日(水)17時までに抄録(400字程度)のご提出をお願いします。

抄録集は参加申込者に、前日までにメールにてお送りします。

お問い合わせ

石川県公立大学法人 石川県立看護大学 岡山

〒929-1210 石川県かほく市学園台1-1

TEL : (076)281-8300 e-mail : ganpro2@ishikawa-nu.ac.jp

主催：石川緩和医療研究会

共催：超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

第27回石川緩和医療研究会 参加者アンケート集計結果

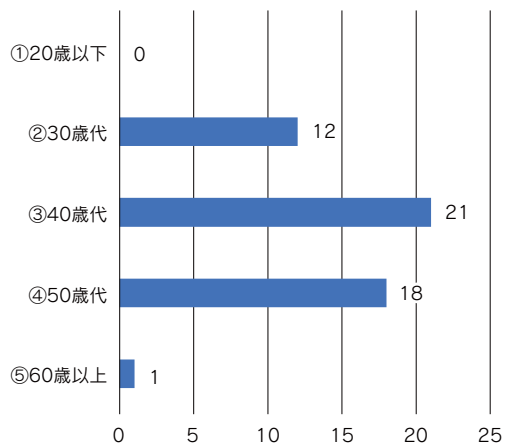
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

担当 岡山 のぞみ

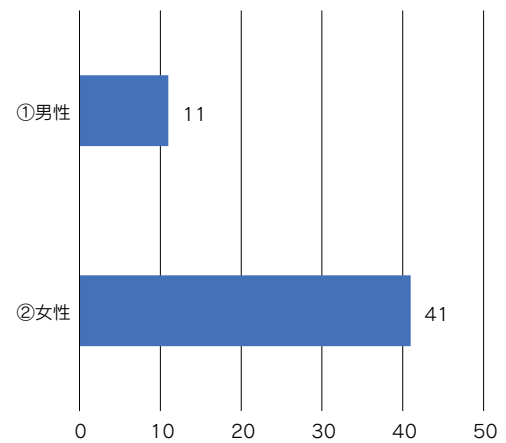
参加者は71名、アンケート回収者は52名(回収率 73.2%)であった。

1. 参加者について (n=52)

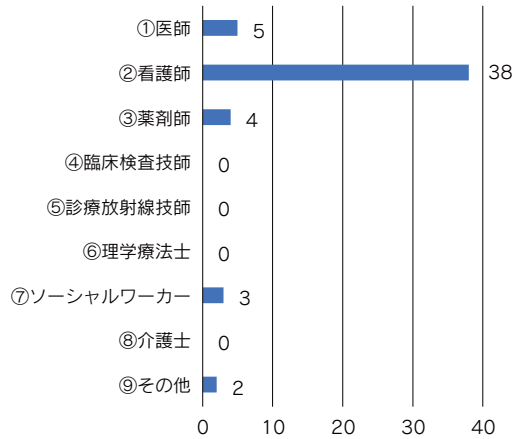
1) 年齢



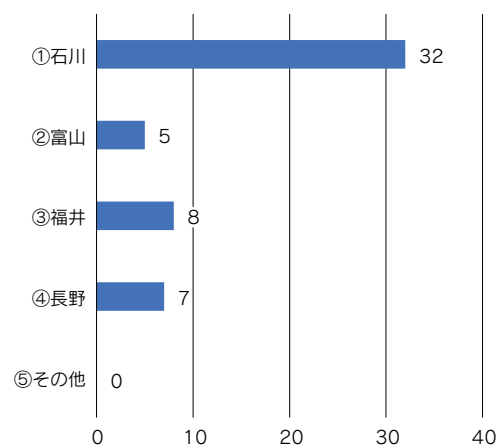
2) 性別



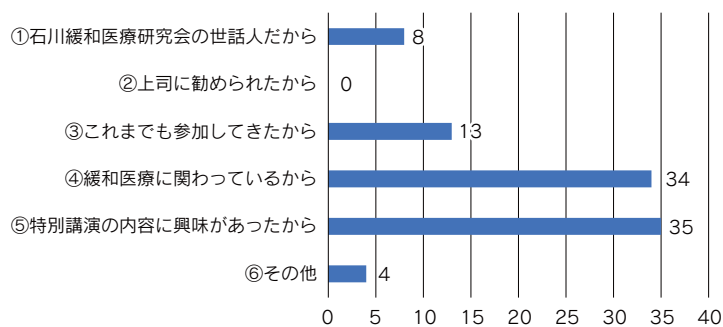
3) 職種



4) 居住区

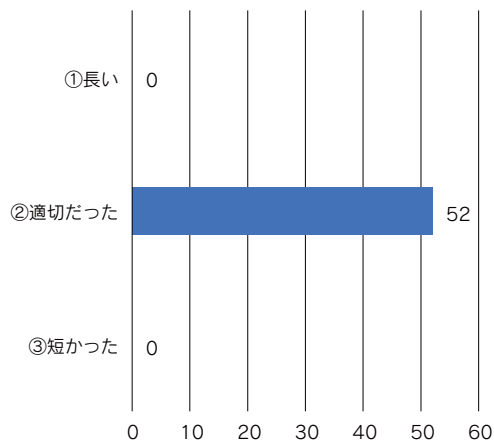


5) 参加動機 (複数回答可)



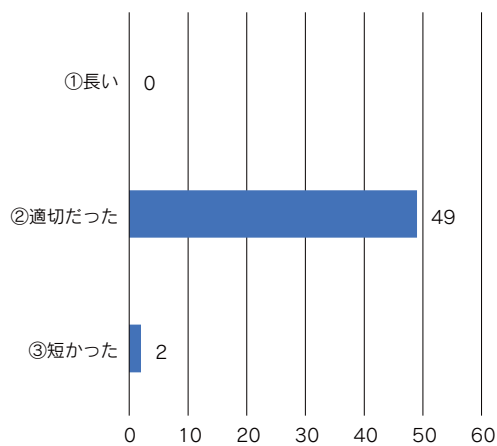
2. 第一部「一般演題」について (n=52)

1) 所要時間

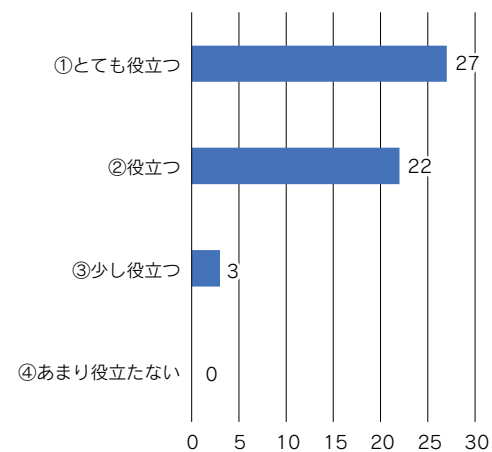


3. 第二部「特別講演」感想について (n=52)

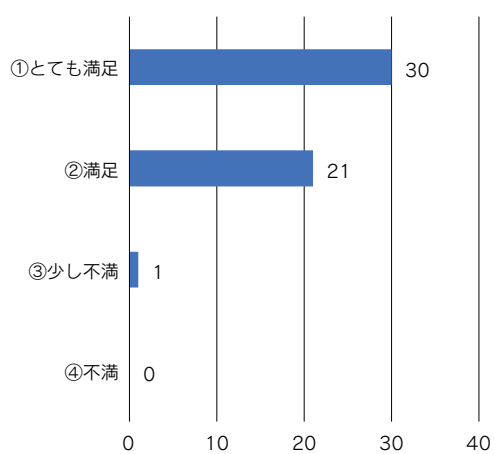
1) 所要時間



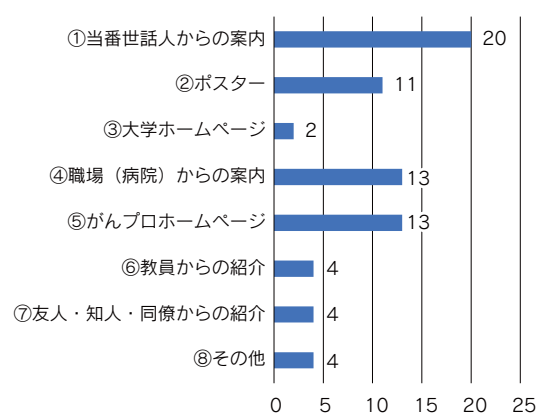
2) 今後の仕事に役立つと思いますか



3) 講演の内容



4. 情報源について (n=52、複数回答可)



5. 本日の講演会の参加理由についてお聞かせください

- ・講演内容に興味、関心があるため（6名）
- ・緩和ケアの現状、新たな情報を知りたかったため（3名）
- ・木澤先生の講演を聞きたかったため（8名）
- ・今後役に立てたいと思ったため（5名）

6. その他、本日の講演に関するご意見感想をお聞かせください

- ・とても分かりやすく勉強になった。（5名）
- ・コロナ禍における緩和ケア病棟の面会の工夫が知れてよかった。（4名）
- ・木澤先生の最新の知見を入れた講演を聴けてよかった。
- ・患者さんに緩和ケア病棟の現状や病棟の紹介をする際、面会のことが一番気がかりであることが多く、今日のことを伝えようと思う。
- ・多職種・他部署と協力して院内やチームの体制を考え直す必要性を感じた。
- ・緩和ケアに従事する人以外にも聞いてもらいたいと思った。
- ・入院患者の様子を家族に写真を送っている取り組みは素晴らしいと思った。若手看護師の苦労も共感出来た。若手だからこそ、患者に密接に関われる時間が持てるメリットもあると思う。年数を重ねると、日々の業務ルーティンに追われ、密に患者と関わる時間が無くなっていくと思うので、今の患者に密接に関われる時間を大切にしたいと思った。
- ・最善を尽くしながら、もしものことを一緒に考えるのは、コロナ禍でなくても大切な姿勢だと思った。
- ・木澤先生の講演に感動した。コロナ患者の緩和ケアを当院でも実践していきたい。
- ・石川緩和医療研究会は今後もZOOM形式でいいと思う。

7. 今後どのような研修会や講演会を希望するかお聞かせください

- ・講演関係は最低限にして、症例検討やグループワークなど双方向性の研修を希望する
- ・認知症患者、AYA世代患者への緩和ケア
- ・看護管理・教育
- ・ACPに関する講演
- ・緩和ケアにおけるソーシャルワーク技法や援助方法のコツなど
- ・抗がん剤治療を行いながら、緩和医療を平行して行う外来患者への対応
- ・各施設で工夫している点や、頑張っていること

がんサロンの活動を知ろう を開催して

大学院実践看護学領域・成人看護学(がん看護)分野 教授
北信がんプロ・コーディネーター、本学がんプロ企画運営委員長
牧野 智恵

2021年11月22日(月)、北信がんプロの市民公開講座として、「がんサロンの活動を知ろう～コロナ禍でのがん患者支援の現状と課題～」を開催した。

第3期がん対策推進基本計画では、1. がん予防、2. がん医療の充実、そして、3. がんとの共生を施策として挙げられている。3つ目の「がんとの共生」では、相談支援や情報提供、社会連携に基づくがん患者支援などが盛り込まれている。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症による感染拡大の影響で、県内外の患者会やがんサロンの開催が中止となっているところが多い。そんな中で、がん患者支援を各県のがんサロンがどのような工夫をしながら実施しているのかをお話いただき、北陸3県のがん患者支援をより充実させたいと思い本企画を計画した。

第1部では福井県済生会病院メディカルカフェの車屋知美様(臨床心理士)、富山県がん総合相談支援センターの尾川洋子様(総括相談員)、がんとむきあう会・元ちゃんハウスの西村詠子様(理事長)、石川県がん安心生活サポートハウス・つどい場はなうめの木村美代様(看護師)、マギーズ東京の秋山正子様(共同代表理事)から、それぞれの活動とコロナ禍での活動の工夫についてお話しいただいた。

今回は、石川県立看護大学を本部とし、完全リモートで開催した。全国のがん体験者や医療従事者約167名が参加してくださり、がんサロンへの関心の深さが伺えた。

それぞれのサロンが、リモートをいち早く取り入れ、また、これまでになかった電話による相談を充実させていた。また、予約によって対面での相談を実施しているところもあった。



福井県済生会病院メディカルカフェ

～コロナ禍での活動について～



福井県済生会病院 臨床心理士 車屋知美

メディカルカフェの開催状況

- 2011年8月5日(金)より月1回<第1金曜日>開催
- 時間は10:00～12:00、13:00～15:00
(※12:00～13:00は休憩) ☆13:00～はミニ講義
- 対象者は、がん治療で通院または入院されている患者さんやご家族(他院で治療を受けている患者さんやご家族でも参加可能)
- 事前の参加申し込みは不要、また参加は無料
- 開催時間内の部屋への出入りは自由
- 開催時間内は、医療スタッフが常駐



がん専門医、緩和ケア医師、がん専門相談員、認定看護師、ソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師、音楽療法士、臨床心理士など多職種による多形態のサポート体制

がん患者や家族の思いに寄り添う場

がん患者の思い

- 他のがん患者や家族と話したい
- いろいろな情報が欲しい
- 次回の通院までの間、話せる場所がない
- 治療は何とか乗り越えても、心のケアができないまま

メッセージ

1人で悩まずに、仲間や医療スタッフと話してみませんか？
きっと心が軽くなります

場所
メディカルカフェ(がんサロン)

参加者への影響

自分の思いを吐き出すことで、がんに関する不安や恐怖を軽くすることができる

メディカルカフェの様子(新型コロナウイルス感染症流行前)

2019年11月には第100回開催を迎えました

参加者全員で歌を歌ったり

お茶を飲みながら気軽に交流できる場

栄養補助食品を試飲したり

新型コロナウイルス感染症感染拡大によるメディカルカフェへの影響

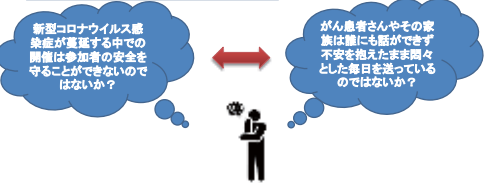
・メディカルカフェの開催中止

2020年3月～2020年5月までの3か月間

開催中止が続く中で葛藤・・・

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中での開催は参加者の安全を守ることができないのではないかな？

がん患者さんやその家族は誰にも話ができず不安を抱えたまま日々を送っているのではないかな？



メディカルカフェ参加者の声

- 2020年6月より、福井県独自の「新型コロナウイルス感染症総合対策」「県民行動指針」に沿って、感染予防対策を実施しながらメディカルカフェを再開



メディカルカフェが開催中止になってからもSNSで連絡を取り合ったりはできていたけど・・・やっぱり会って話ができる方が断然良い！！

コロナ禍でのメディカルカフェの様子

10周年目に突入!!

感染対策、ソーシャルディスタンスを守りながら安全・安心に開催

栄養補助食品の試飲がなくても楽しめる工夫をしたミニ講義

2021年度 メディカルカフェの内容

参加人数の制限など感染症対策をしながら従来どおりの内容で開催継続中

午前の部 10:00～12:00
10:00～12:00 フリータイム
☆がん哲学外来

午後の部 13:00～15:00
13:00～13:30 ミニ講義
13:30～15:00 フリータイム
☆就労支援相談会
☆脱毛・ウィッグ・パケア相談会

就労支援相談会のご案内
がん患者さんやご家族の就労に関する悩みを解決するための相談会です。お気軽にご相談ください。

がん哲学外来のご案内
がん患者さんやご家族の悩みを解決するための相談会です。お気軽にご相談ください。

これからも～仲間寄り添う、向き合う場としてあり続けること～

タオル帽子作り

患者さんの手作り雑貨

ピアサポーター

乳腺パッド作り

ボランティア

ヨガ

富山県 がん総合相談支援センターでの活動

コロナ禍でのがん患者支援の現状と課題



令和3年11月22日

富山県がん総合相談支援センター

統括相談員 尾川 洋子

住所) 富山市安住町
サンシップとやま7階
(富山県総合福祉会館)

富山県がん総合相談支援センターの特徴

- 病院と離れた街中
病院と離れた環境で、がん患者さんやご家族の方々が、気軽に相談できる場を提供
明るくて眺望がよい(7階でガラス張り)
- 県社会福祉協議会の各相談機能の活用
県社会福祉協議会の中にあることで、福祉サービスや介護、法律などの相談機能と連携し、より専門的に相談・情報提供ができる
- がんピアサポーターの養成・活動支援
県内各がん診療連携拠点病院の院内サロンでのピアサポート
がん教育出前授業、企業への出前授業(体験談)
がんピアサポーターフォローアップ研修

富山県がん総合相談支援センター

患者支援体制の充実

1 趣旨

がん患者やその家族の不安・悩みは、医療だけでなく心理、生活、介護、就労など多岐に渡るため、**がんに関する総合相談窓口**として「**がん総合相談支援センター**」を設置

2 業務内容

- ①相談
- ②情報収集・提供
- ③がんピアサポーターの養成
がんピアサポート活動支援
- ④がん患者への支援
- ⑤がん診療連携拠点病院等との連携・協力



富山県がん総合相談支援センター
(H25年9月設立)

3 相談体制

受付時間 月曜日～金曜日 9時～16時
土曜日 13時～16時
相談員 4名(看護師)

4 運営 富山県社会福祉協議会に委託

交流サロン・AYA世代交流サロン・グリーフケアの会

- がんピアサポーターが主体となり、その知識や体験を活かして、がん患者やその家族の不安や悩みを傾聴し、共に考える支援を行っています。



交流サロン参加者のご意見

(アンケート結果より)

- コロナ禍でがん患者が話せる場が失われているので、病院以外の「場」が重要である。継続希望。
- コロナの話題で盛り上がるが、生活面での工夫や過ごし方、気持ちの持ち方などの参考になる。
- 話を聴くだけで癒しになり参加するたびに楽しい。コロナ禍であるが感染対策をしっかりとってまた参加したい。
- ソーシャルディスタンスを守っているが、仲間の心の距離は近い感じで嬉しい。

富山県がん総合相談支援センター

交流サロン参加者のご意見

(アンケート結果より)

- サロンに参加すると不思議な力がもらえる。
- 何気ない会話の中に希望が見つかった。
- 雑談のようだが、がん患者特有の悩みを話せてよかった。
- がんへの想いは共通、心の痛みは言葉にして吐き出すことにより和らいだ。
- 日々の生活の中で出合いを大切にしたい。

富山県がん総合相談支援センター

課題

- 相談支援センターの認知度
- サロンの認知度、PR不足
- マスク着用による(音量・表情)
- オンライン交流サロンの開催の検討
- 感染者数等社会状況に応じた開催の在り方

富山県がん総合相談支援センター

利用者が 安心して相談でき、 悩みごとを話せる場を提供する

この場所が、勇気を持って訪れた方々に、何か一つでも来て良かったと思っていただけるように心がけていきたい

富山県がん総合相談支援センター

2021年度事業北信がんプロ市民公開講座

がんサロンの活動を知ろう

～コロナ禍でのがん患者支援の現状と課題～

元ちゃんハウスでの活動

認定NPO法人がんむきあう会
理事長 高村 綾子

2021.11.22

元ちゃんハウス

がんを抱えた「患者、ではなく、ひとりの」人間、として自分を取り戻す。自分を静かに見つめ、同じ悩みの仲間とながり、専門的なサポートも受けられる。病院でも自宅でもない、あなたのもう一つの「わが家、のような場です。Likeマギーの町中の小さな安楽所です。



がんを患っても、その人らしく生きることが出来る場とがんに関わるすべての人たちの出会いの場を街中（院外）に実現する！どうしたら実現できるか？

前理事長 西村元一
金沢大学附属病院を経て
金沢赤十字病院副院長
専門は大腸外科。
(享年58歳)

前理事長に2015年3月進行胃がんが見つかり、あつらいいな！と言っていた夢から、実際に作る！と大き（鉈）を切り、2年2か月の闘病期間で作り返して逝った。

金沢に「マギー」を！

■2016年6月NPO法人がんむきあう会として新たなスタートを切り越屋メディカルケアさんよりこのビルの無償提供を頂き12月1日元ちゃんハウスをオープン。2018年認定NPO法人として認定される。今年12月に5周年を迎える

■金沢市民ががんに罹患してもその人らしいいきいきと生活ができるよう、がん患者に対する支援を通して、市民の健康寿命の延伸と活力ある地域社会の実現を目指すことを趣旨に、金沢市、金沢医療センター、金沢大学附属病院と協定を締結



コロナ禍での活動

緊急事態宣言が出た2020年4月8日から5月末日は完全休館

専用携帯電話での相談・メール相談・号外発送

持続化給付金申請（国・県）

石川県感染拡大防止対策支援金申請

洗面所トイレ改装・自動水栓
換気のために換気扇交換
玄関横の扉、ドアの網戸を新設しました。
面談時に有効なアクリルガードを新設しました。



コロナ流行以前・・・

予約不要、いつでも、どれだけでもコーヒーを飲みながら・・・お菓子をつまんで昼食を一緒に・・・当事者の声からつくるプログラム実施

普段トークwithがん詳しい看護師（第二のわが家のような空間でがん詳しい看護師と語らう）

開催日：第2・4火曜日及び第1土曜日午後1時～午後3時、水曜日午後1時～午後3時
担当：●金沢医療センター・金沢大学附属病院看護師（火曜、土曜）
●石川県立看護大学の看護教員（水曜）

今は第4火曜日ZOOMでおしゃべり会金大附属病院・医療センターの看護師さんが参加してくれている。

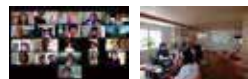
コロナ禍のなか、元ちゃんハウスが出来ること

より慎重な感染防止対策をとり病院の外だからこそを強みとしてとにかく活動継続し、場を作り続けること
コロナ禍で孤立しやすい患者さんのために落ち着いたら戻ってきてもらうために

変更したこと

予約制・来館前連絡
連絡先を開く
可能なプログラムは2020年はオンラインのみ、2021年は対面とオンラインのハイブリッド形式で行う
お菓子、コーヒーの提供はやめる・ペットボトル提供

予約制にしたためスタッフも減らして対応している何かあってもいいかなと慎重にならざるを得ない



・オンラインでのプログラムで全国からの参加がある

元ちゃんハウスに来れない遠方の方
体調が悪くても自宅から参加
入院中の患者さんの参加
地元が集う場所が無い・患者会が無い方

・年配者やWi-Fi環境の無い方への対応は？

実際におしゃべりしたい！
病院帰りにふらりと寄りたい
「ダメだったら帰るつもり・・・」

助成金が出たら器材購入、貸し出して繋がりたいたい・・・

課題
コロナが落ちついたら元に戻せるか？
ハイブリッドのメリットもある・・・
対面とオンラインの2重の支援が続くと負担は大きい
細やかな心配りができるか・・・？

元ちゃんハウスへ行くことを目標に治療を頑張る！という声も頂く

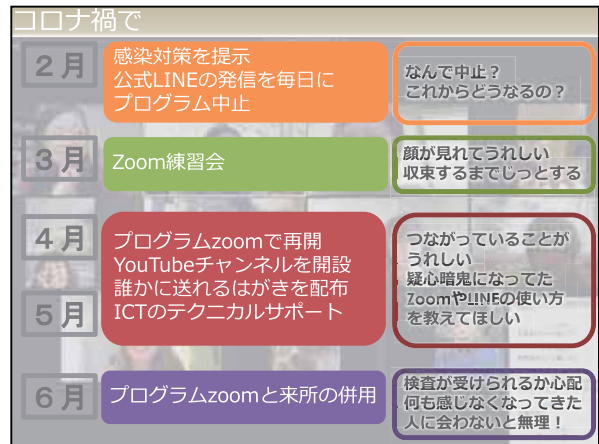
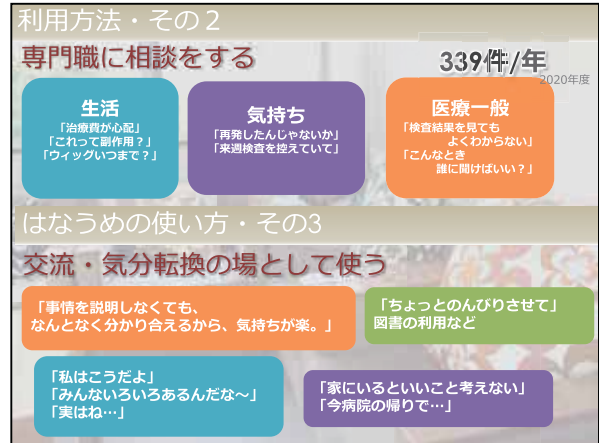
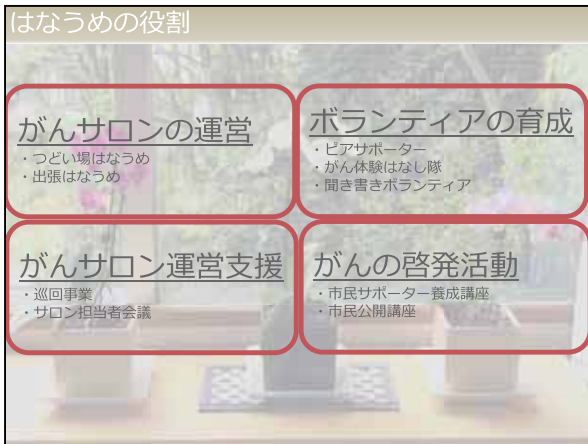
私達にとってここは絶対に譲れない大切にしたい基本！

最後に

新型コロナウイルス感染が心配される今、大切にしたいコンセプトを守ることがむずかしいが、新しい形も模索しながらも患者さん達と共に居る場所を作っていきます。これからもずっと扉を開け続けたいと思います。

コロナ禍でも無くても、病院だけの医療では対応しきれない隙間を埋める役割を果たし、がんの相談はもちろんですが、医療以外のことも話し合える環境を作っていることが、がん患者さんのQOLを向上させ地域医療にも貢献できるのではないかと考えます。





maggie's

コロナ禍でのがん患者支援の現状と課題 マギーズ東京の活動

認定NPO マギーズ東京

共同代表理事・センター長
秋山正子



マギーズセンターの柱

1. 建築・環境

ほっとくろげ自分を
取り戻せる居心地の良さ

マギーズセンター建築概要

- ・自然光が入って明るい
- ・安全な（中）庭がある
- ・空間はオープンである
- ・スタッフルームからすべて見える
- ・オープンキッチンがある
- ・セラピー用の個室がある
- ・暖炉がある、水槽がある
- ・一人になれるトイレがある
- ・280㎡（84坪）程度
- ・建築デザインは自由

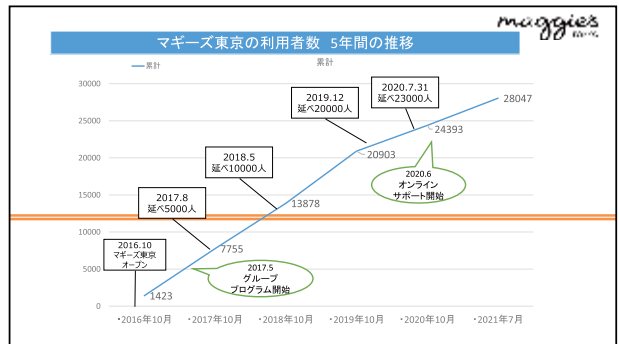
2. ヒューマンサポート

医療知識のある友人のような
ナースや心理士のかかわり

ひとりひとりに寄り添う
話したいことがあれば、そっと寄り添い、ゆっくり話を耳を傾ける

対等な立場
「その人の病気の専門家はその人自身」医療者ではなく友達のように

自分らしさをエンパワメント
その人が自分の力に気づき、また歩めるように



コロナ禍でのマギーズ東京 利用方法

安心していらしていただくために・・・
ご予約での来訪をお願いしています
(平日10時～16時)

+

電話やメールでもつながれます

- 電話：03-3520-9913（平日10時～16時）
- FAX：03-3520-9914
- メール：soudan@maggiestokyo.org
- ビデオ通話：Zoom、Googleハンガアウト、Skypeなど

※その他のオンラインツールのご希望はメールに書いてお知らせください

コロナ禍の影響 マギーズ東京利用者の声から

【ご本人】

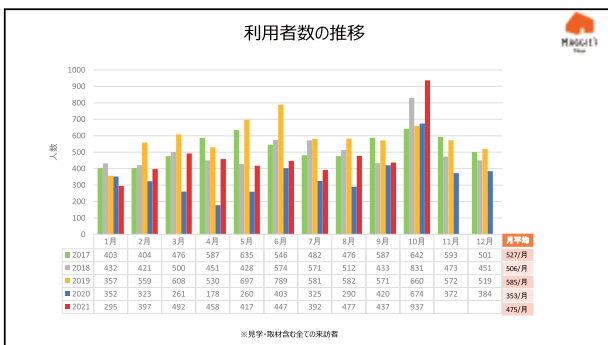
- 新型コロナウイルス感染への不安
治療中の感染、外出できない繋がれない不安で電話をした
- 診療への影響の不安
コロナ患者受け入れ開始、手術の延期、受診キャンセル
- 仕事への影響
通勤出勤の不安、周囲からの配慮
- 相談の場
病院内の雰囲気、サロンの休止、電話がつかまらない

【ご家族】

- 面会制限への不安
会えないので様子かわらない
- 家庭内感染への不安

一方でプラスも・・・

- ・みんな在宅勤務で、休みが自立たない
- ・マスク姿でも浮かない
- ・外出しないので、ウィッグの心配がない



ナイトマギーズ

第1、3金曜日 18:00-20:00

仕事等で日中に時間が取れない方もどうぞ
【来訪者の声】

- 仕事復帰し日中の利用が難しくなったので、夜間相談があることで安心できた。
- 日中は話せなかったが、夜間には話ることができ、気持ちが開けた。

行政からの助成事業
第1金曜日は江東区、第3金曜日は品川区

TEL 03 3520 9913
soudan@maggiestokyo.org

がんサロンの活動を知らう

～コロナ禍でのがん患者支援の現状と課題～

がんサロンとは？

がん体験者やその家族が、悩みを語ったり情報交換し、がんと上手に付き合うことを支援する場です。しかし、昨年からの新型コロナウイルスによる感染拡大にともないがんサロンの活動が制限されています。今回は、北陸とマギーズ東京での活動状況をお聞きし、がん体験者を支援する課題について考えていきたいと思います。医療従事者だけでなく、がん体験者やそのご家族の方の参加をお待ちしています。

本講座は**オンライン配信のみ**となります。
お申し込まれた方に、
YouTube配信アドレスを送付いたします。

希望者に
修了証を
発行します

プログラム

18:00 開会の挨拶 牧野 智恵 (石川県立看護大学 教授)

第1部 報告会

司会：松本 智里 (石川県立看護大学)

- ① 18:05 福井県済生会病院 メディカルカフェでの活動
臨床心理士 車屋 知美
- ② 18:20 富山県がん総合相談支援センターでの活動
統括相談員 尾川 洋子
- ③ 18:35 がんとむきあう会・元ちゃんハウスでの活動 (石川県)
理事長 西村 詠子
- ④ 18:50 石川県がん安心生活サポートハウス・つどい場はなうめの活動 (石川県)
看護師 木村 美代
- ⑤ 19:05 マギーズ東京の活動
共同代表理事・センター長 秋山 正子

第2部 シンポジウム

座長：牧野 智恵 (石川県立看護大学)、廣野 靖夫 (福井大学)

19:20 「コロナ禍でのがんサロンにおける患者支援の工夫と課題」

19:30 閉会の挨拶 廣野 靖夫 (福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター長)

参加費
無料

2021年

11月22日(月) 18:00~19:30

お問い合わせ

石川県公立大学法人 石川県立看護大学 (担当: 岡山)

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地
TEL 076-281-8300 (代) FAX 076-281-8319

●締切：2021年11月15日(月)

事前のお申込が必要となります。
裏面のお申し込み方法をご確認ください。

対象者：全て (医療職者・一般)

定員：制限なし

参加費：無料

主催：超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)
石川県立看護大学、金沢大学、金沢医科大学
富山大学、福井大学、信州大学

共催：北陸 CNS の会

後援：石川県、富山県、福井県、金沢市、かほく市
石川県看護協会、北國新聞社、福井新聞社



「がんサロンの活動を知ろう」 参加者アンケート集計結果

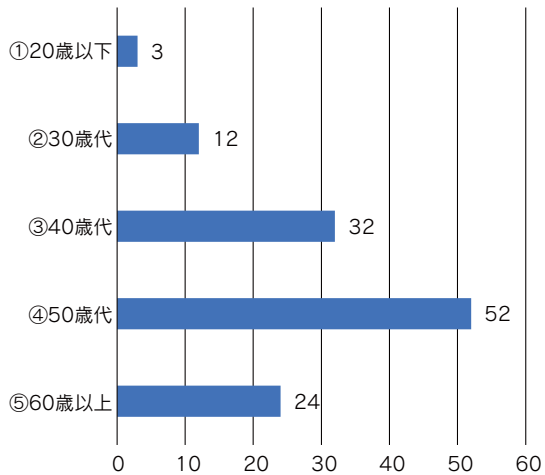
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

担当 岡山 のぞみ

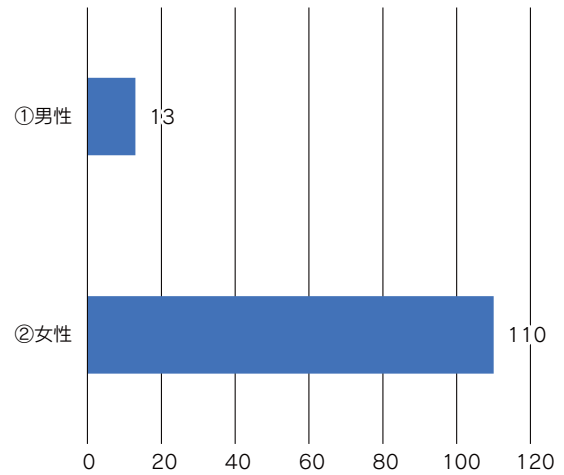
参加者は166名、アンケート回収者は123名(回収率 74.1%)であった。

I. 参加者について (n=123)

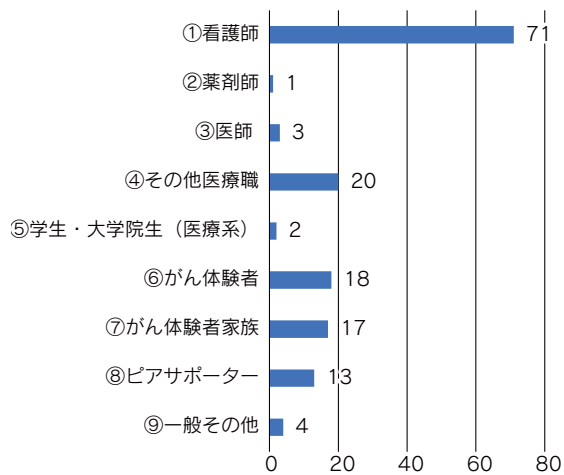
1) 年齢



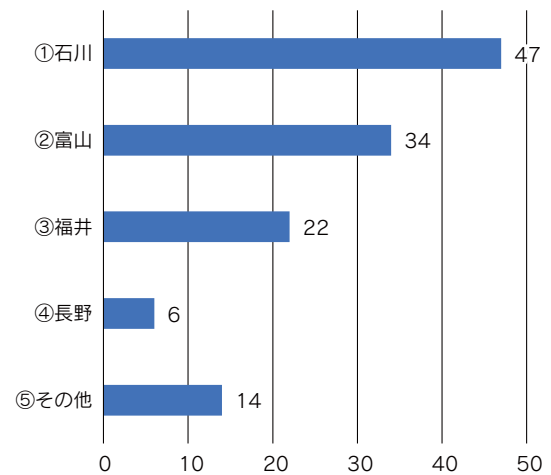
2) 性別



3) 職種 (複数回答可)

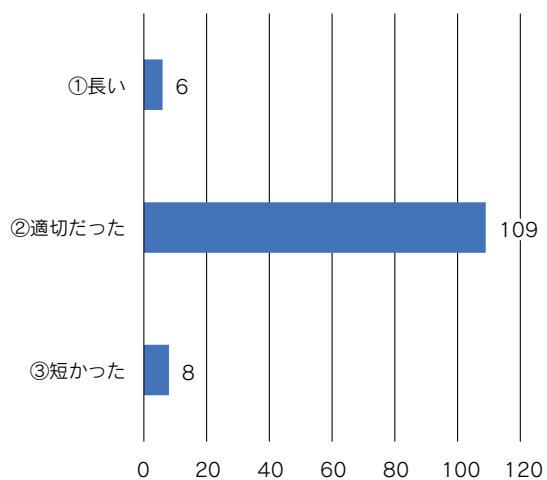


4) 居住区

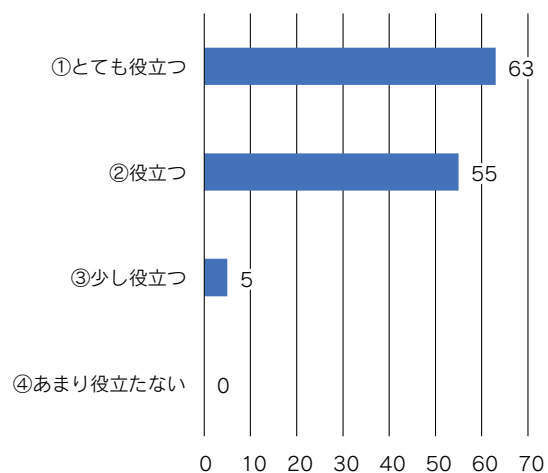


II. 参加した感想について (n = 123)

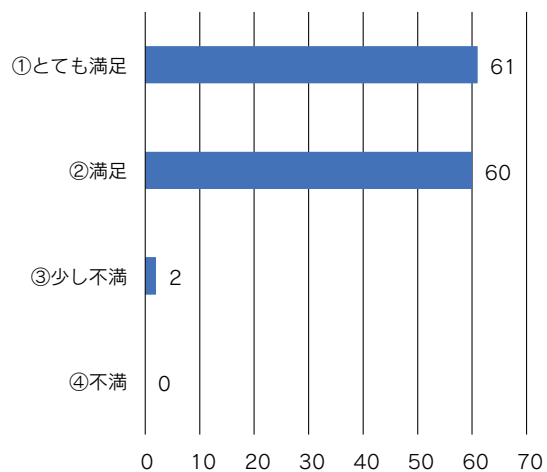
1) 所要時間



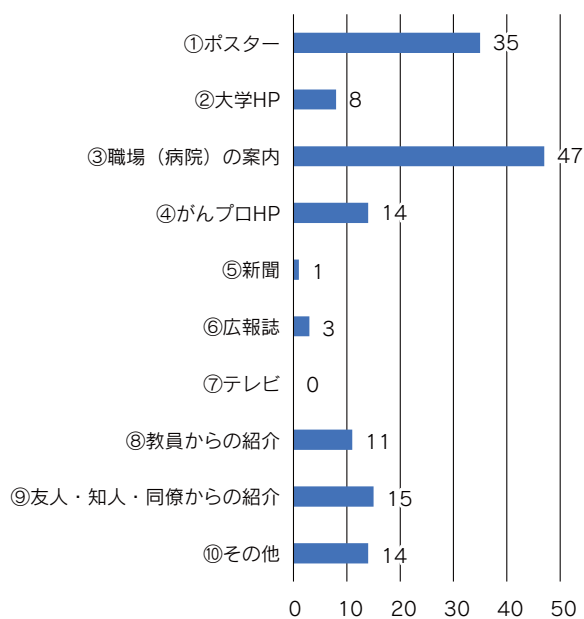
2) 今後の仕事に役立つと思いますか



3) 講演の内容



III. 情報源について (n = 123、複数回答可)



IV. 本日の講演会の参加理由についてお聞かせください

- ・自施設のがんサロンの運営や、業務上の参考にするため (39名)
- ・がんサロンの活動内容、コロナ禍での活動を知りたかったため (38名)
- ・がんサロンの活動に興味があったため (17名)
- ・講演者のがんサロンに参加したことがあるため (7名)
- ・自身ががん患者 (がん患者家族) であり、関心があったため (5名)
- ・がん患者に会う機会が多いため (5名)

V. その他、本日の講演に関するご意見感想をお聞かせください

- ・北陸では難しいかもしれないが、夜間に場所が開いているのはいいなと思った。
- ・がん教育とがんと語る取り組みが連携できるといいと思った。
- ・マギーズ東京の動画が素晴らしかった。各施設のいろんな取り組みに関して知ることができて有意義だった。
- ・コロナ禍で、がんサロンに対するこれまでの意気込みが少なくなりかけていたが、また気持ちを回復することができた。
- ・ふらっと立ち寄れる、家族にもできない話ができるなどがんを抱える方に必要な場であり、それに関わる方々が一生懸命であることに感動した。
- ・がん対策に従事しており、ピアサポーターや地域のサロン活動の充実について悩んでいたが、今回の講演を聞いて、少し道筋、方向性が見えた気がした。どんなことができるのか、前向きに楽しく考えて、実現させていきたいと思う。
- ・がんサロンの思いが患者さんの力になると思った。
- ・コロナ禍の状況の中であっても、様々な工夫をしながら、活動を継続されていて、とても感動した。
- ・各サロンの取り組みを知ることができ、自施設のサロンに活かしたいと思った。また、各サロンの温かさや多くのがん患者さんがやすらぎの場を必要とされていることを感じた。
- ・小児在宅医療携わっており、今回ご講演頂いた活動のような小児がんの子どもたちも利用できる施設やイベントがさらに充実していけば良いなと感じた。
- ・すべての一般の方に知識の一つとして知っていただきたいと思うような分かりやすい内容だった。
- ・北陸地域でのきめ細かながん患者に対するサポートに感心した。このように寄り添っていただければ、これからの生活に元気をいただけると思う。私はこのような活動があることを知らず、治療中は一人で悩んだため、そんなことがないようにより多くの患者さんや家族の方にこのような活動を知っていただきたいと思う
- ・対策をとりながらも繋がりを続けていくことで、「ここにいていいんだ」という安心感を持つことが出来ていると感じた。マギーズの精神が初心に帰れたので、参加出来てよかった。
- ・コロナ禍を負と捉えるのではなく、工夫して対面以外の新たなものを取り入れてプラスにしており、コロナ禍の時代にあった取り組みを個々に考えている事が素晴らしいと思った。
- ・ピアサポーターの横の繋がりはなく、他県の活動を知るよい機会となった。

- ・がんプロに協賛して下さっている行政やマスコミ関係、そして何より支援を受ける側の患者、家族の方たちの生の声も併せて伝えて頂ければと感じた。それぞれの在り方が共有できてこそ、支援が本物となり患者さんが恩恵にあずかれるのではと思う。
- ・がんサロンは患者さんの為だけではなく、家族が悔いなく患者さんと過ごすための学びの場でもあると感じた。
- ・私は、がん患者の遺族であり、「家族は第2の患者」と言われる程、家族は闘病中も亡くなった後も、ずっと心を痛めている。しかし、そんな家族を支える場はあまりなく、あっても知らない人が多いように思う。もっともっと家族の為のサポートが増え、発信していただければ幸いに思う。

VI. 今後どのような研修会や講演会を希望するかお聞かせください

- ・がんサロンの運営方法、活動報告、課題など (16名)
- ・ピアサポーター活動 (9名)
- ・ACP (3名)
- ・がん患者の意見や思いを聞ける研修 (3名)
- ・がん教育
- ・遺族の心のケア
- ・放射線治療後の後遺症
- ・がん相談支援センターの特徴、利用法

オンライン開催 参加方法：ZOOM会議システム

希望者には**修了証**を発行します

対象者：**医療従事者**（学生含む）



英国緩和ケア WEB研修

参加費
無料
(定員100名)

2020年～2021年度は、新型コロナウイルス感染症による感染拡大の影響で、海外研修を実施することができませんでした。しかし、日本各地にいるがん患者さんは今も医療者による心の癒しを求めています。

そこで、**英国在宅ケアやホスピスケア**で有名な**英国のドロシーハウス・ホスピス**の様子や緩和ケアの様子を、リモートを通じて皆さんと共有し、**コロナ禍において我々に何ができるのか**を考えるきっかけになれば幸いです。

石川県立看護大学 教授 牧野 智恵

2022年 17:00～19:45

3月10日(木)

【申込締切】2022年 **3月7日(月)**

右記QRコードよりお申込下さい



ドロシーハウス・ホスピス ～Dorothy House Hospice Care～

終末疾患患者は病院内ではなく生活するコミュニティでのケアが必要だと感じ、聖クリストファー・ホスピスに触発されたブル・デュフォーによって1976年に設立されました。彼女が選んだ当施設の名称「ドロシー」には「神の贈り物」(Gift of God)の意味があります。

患者がよい生活を送り、よい最期を迎えることができるように、生活の質に重点を置いています。

Program プログラム

司会進行 石川県立看護大学 成人看護学 講師 松本 智里

	16:55～	開会の挨拶 石川県立看護大学 成人看護学 教授 牧野 智恵
第1部 ビデオ視聴 セッション *字幕翻訳*	17:00～17:30	・ドロシーハウスの紹介とバーチャルツアー ウェイン・ド・リーブ氏(CEO) ・ホスピスが提供するケアと教育 キャンディ・マケイブ教授(教育研究担当)、ミッシェル・ジョーンズ氏(人材開発マネージャー)
	17:30～18:00	・スピリチュアル・セッション byデーブ・スミス氏(聞き手: ミッシェル・ジョーンズ氏) デーブ・スミス氏(スピリチュアル支援リーダー)、ミッシェル・ジョーンズ氏(人材開発マネージャー)
第2部 ライブ セッション *同時通訳付* 通訳者 重松 加代子氏	18:00～18:15	・講師等の紹介
	18:15～18:45	・コロナ禍における専門的緩和ケアの提供 カレン・トゥッジ氏(患者家族サービス次長)
	18:50～19:20 休憩(5分)	・悲願と死別 一事例検討を通して アン・モンターギュ氏(心理支援リーダー)
	19:25～19:45	・Q&A
		※当日の進行状況によって、時間が前後する可能性があります 閉会の挨拶 石川県立看護大学 成人看護学 教授 牧野 智恵

【お申し込み・お問い合わせ】石川県立看護大学(担当:岡山)
〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300(代) E-mail: ganpro2@ishikawa-nu.ac.jp

主催：超少子高齢化社会での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）
(石川県立看護大学・金沢大学・金沢医科大学・福井大学・富山大学・信州大学 共同企画事業)



おわりに 北信がんプロの5年間を振り返って



石川県立看護大学学長補佐
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）
石川県立看護大学 がんプロ企画運営委員
企画・総務委員長 牧野 智恵

北信がんプロにおける本学の使命は、医学的知識を兼ね備え、アセスメント力をつけたがん看護専門看護師を育成することにあります。この5年間はがん医療のめざましい発展があり、特にゲノム医療を取り入れた治療が主流となり、ゲノム医療を受ける患者への看護を実践できるがん看護専門看護師を育成するために様々な企画を実施してきました。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の観点から、企画実施方法を駆使し、コロナ渦にもかかわらず、多くのがん教育などの企画を実施することができました。

また、海外研修も実際に海外に出向くことはできませんでしたが、英国のドロシーハウスとリモートでの研修を企画することで、海外におけるコロナ禍でのがん患者支援の現状について、県内外の医療従事者にお知らせすることができました。

石川県立看護大学は、北信がんプロで開催される様々なゲノムに関する講演に参加するだけでなく、看護の視点を活かした独自の市民公開講座を企画しました。また、そのときそのときのがん医療の課題に焦点を当て、緩和医療、抗がん剤曝露問題、AYA世代の患者の理解についての企画も行ってきました。

今年度でひとまず「北信がんプロ」の活動は終わりますが、2007年から実施してきたがんプロによって育ったがん看護専門看護師や他大学の医師・薬剤師との繋がりを大切に、引き続き事例検討会やリンパ浮腫研修などは実施していこうと思っております。

今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

2021年度
「北信がんプロ」委員会委員、本学企画・運営担当者 一覧表

総務委員会	牧野 智恵・石垣 和子・西田 義明
教務委員会 e-クラウド小委員会	松本 智里・瀧澤 理穂・桶作 梢・ 林 信隆・牧野 智恵
広報・ICT 委員会	大江 真吾・瀧澤 理穂
オンコロジーセミナー委員会	瀧澤 理穂
運営協議会	石垣 和子・牧野 智恵
企画委員会	牧野 智恵・今方 裕子・大江 真吾

本学 「北信がんプロ」各種企画・運営担当者一覧表

ライフステージ事例検討会 薬学部、医学部共同 (テレビ会議システム)	松本 智里・瀧澤 理穂・岡山のぞみ
看護実践セミナー リンパ浮腫のケア (基礎編)	今方 裕子・瀧澤 理穂
看護実践セミナー リンパ浮腫のケア (アドバンス編)	桶作 梢・今方 裕子
FD 研修 「第27回石川緩和医療研究会」	牧野 智恵・松本 智里・今方 裕子・瀧澤 理穂
北陸CNSの会 共催企画	牧野 智恵・今方 裕子・瀧澤 理穂
市民公開講座 「がんサロンの活動を知ろう」	牧野 智恵・松本 智里・瀧澤 理穂
報告書	桶作 梢・大江 真吾・岡山のぞみ

2021年度
北信がんプロ
～超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成～
事業報告書

発行 石川県立看護大学
〒929-1210 石川県かほく市学園台1-1
電話 076-281-8300

発行日 令和4年3月

印刷 (株)大和印刷社

